令和４年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人 善 隣 会

特別養護老人ホーム尚古園
サテライト特養尚古園
尚古園デイサービスセンター
サテライト尚古園デイサービスセンター
グループホーム山径
デイサービスセンター山径
尚古園指定居宅介護支援事業所

園訓

一、より大切に

一、より優しく

一、より早く

目　次

法人本部

1. 善隣会の概要・・・

サテライト尚古園デイサービスセンター

1. 利用者生活支援状況・・・

法人本部



1、善　隣　会　の　概　要

（1）沿　　革　　昭和 49 年 9 月　社会福祉法人設立認可申請
昭和 50 年 6 月　社会福祉法人善隣会　設立認可
昭和 50 年 10 月　特別養護老人ホーム尚古園新築工事着工
昭和 51 年 6 月　特別養護老人ホーム尚古園完成　事業開始（50 床）
日本自転車振興会助成、山梨県補助
昭和 52 年 9 月　特別養護老人ホーム尚古園新館増床要望書提出
昭和 53 年 4 月　特別養護老人ホーム尚古園新館増床認可
昭和 53 年 11 月　特別養護老人ホーム尚古園新館工事着工
昭和 54 年 6 月　特別養護老人ホーム尚古園新館竣工（30 床）
事業開始（定員 80 名）　　日本自転車振興会助成、山梨県補助
平成 1 年 12 月　特別養護老人ホーム尚古園スプリンクラー設置
日本自転車振興会助成、山梨県・甲府市補助
平成 4 年 4 月　尚古園本館給湯給水設備改修、車両財団助成金　　甲府市補助金
平成 12 年 3 月　特別養護老人ホーム尚古園大規模修繕・拡張工事完成
（国保・山梨県・甲府市補助金）
平成 12 年 4 月　介護保険事業者指定　事業開始
・介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム尚古園）
・短期入所生活介護（特別養護老人ホーム尚古園）
・居宅介護支援事業（尚古園指定居宅介護支援事業所）
平成 13 年 3 月　尚古園デイサービスセンター・グループホーム山径
整備計画書提出
平成 14 年 1 月　尚古園デイサービスセンター・グループホーム山径
創設工事着工
平成 14 年 8 月　尚古園デイサービスセンター・グループホーム山径
創設工事峻工、 国庫・山梨県補助金
平成 14 年 11 月　介護保険事業者指定　事業開始
・通所介護（尚古園デイサービスセンター、定員 15 名）
・認知症対応型共同生活介護（グループホーム山径、定員 9 名）
平成 15 年 4 月　尚古園デイサービスセンター定員 20 名に変更
平成 15 年 10 月　尚古園デイサービスセンター定員 25 名に変更
平成 16 年 3 月　介護保険事業者指定　事業開始
・通所介護（緑が丘デイサービスセンター、定員 8 名）
平成 16 年 11 月　駐車場設置工事着工
平成 17 年 1 月　駐車場設置工事完成
平成 17 年 2 月　緑が丘デイサービスセンター定員 10 名に変更
平成 17 年 11 月　緑が丘デイサービスセンター拡張工事完成
平成 17 年 12 月　機械浴槽を設置　平成 17 年度年賀寄附配分金
平成 17 年 12 月　尚古園太陽光発電システム設置

新エネルギー財団・東京電力助成
平成18年 2 月　尚古園エレベーター改修、設置
平成18年 8 月　地域密着型サテライト特養尚古園選定
平成18年10月　特養尚古園ショート居室増床工事（8床）
平成18年12月　ボイラー地上タンク設置、ボイラー改修工事
平成18年12月　地域密着型サテライト特養尚古園施設設備費、
甲府市助成金交付内定
平成19年 4 月　サテライト特養尚古園事業開始
平成19年 7 月　尚古園中央デイサービスセンター事業申請提出
平成19年 8 月　尚古園中央デイサービスセンター事業開始
サテライト特養尚古園短期入所生活介護申請(空床型)
平成19年 9 月　サテライト特養尚古園短期入所生活介護事業開始(空床型)
平成20年 7 月　特別養護老人ホーム尚古園建物・設備改修工事着工
財団法人車両競技公益資金記念財団補助事業
平成20年 8 月　尚古園中央デイサービスセンター競輪公益金補助事業により
福祉車両を整備
平成20年11月　サテライト特養尚古園土地・建物を自己保有資産とする
平成21年 4 月　デイサービス山径事業開始
平成21年 7 月　サテライト特養尚古園短期入所生活介護休止
平成21年 8 月　特別養護老人ホーム尚古園受水槽設置工事開始
平成22年 3 月　尚古園デイサービスセンター日本財団補助事業により福祉
車両を整備
平成22年8月　サテライト特養尚古園スプリンクラー設備費、
甲府市助成金交付決定
平成22年9月　特別養護老人ホーム尚古園浴室棟増築工事完成
平成22年11月　サテライト特養尚古園・尚古園中央デイサービスセンター
スプリンクラー設置工事完成
平成23年9月　サテライト特養尚古園　高圧電気設備の全面更新
平成24年4月　特別養護老人ホーム尚古園　居室廊下等全面改修工事(8月終了)
照明器具省エネ改修工事(尚古園・尚古園デイ・グループホーム)
平成24年9月　尚古園ガス設備工事・業者変更
バルク及び旧配管撤去、新規ガスボンベ保管庫設置(厨房横)
平成24年12月　尚古園中央デイサービスセンター事業休止
平成25年1 月　サテライト特養尚古園　併設型ショートスティ6床開設
平成25年5 月　事業用敷地購入(甲府市緑が丘一丁目158番　面積872.79㎡)
平成25年8 月　尚古園中央デイサービスセンター事業廃止
平成25年11月　サテライト特養尚古園　併設型ショートスティ事業廃止
平成25年12月　特別養護老人ホーム尚古園　中央競馬馬主社会福祉財団補助事業に
より福祉車両を整備
平成26年 4 月　サテライト尚古園デイサービスセンター事業開始（定員10名）
平成26年10月　尚古園空調設備改修

平成27年 3 月　サテライト尚古園デイサービスセンター日本財団補助事業により福祉車両を整備
平成27年 7 月　サテライト特養尚古園エレベーター改修工事
平成27年10月　サテライト特養尚古園サッシ入替その他改修工事
平成28年 3 月　グループホーム山径エアコン改修工事
平成28年 7 月　尚古園短期入所生活介護事業定員変更（定員８名→定員10名）
平成28年 10月　サテライト特養尚古園多目的室設置工事
平成29年 4月　尚古園、サテライト特養尚古園防犯設備設置工事
平成29年11月　尚古園居室区分変更工事
平成29年12月　サテライト特養尚古園ガス給湯器交換工事
平成29年12月　尚古園デイサービスセンター壁紙張り替え工事
平成30年 2月　尚古園デイサービスセンター昇温配管更新工事
平成30年 2月　尚古園電話設備更新工事
平成30年 2月　尚古園移動式消火設備設置及び火災通報装置連動工事
平成30年 4月　サテライト特養尚古園ガス給湯器交換工事
平成30年 5月　サテライト特養尚古園２階、３階手すり設置工事
平成30年 8月　サテライト特養尚古園排水管改修工事
平成30年 10月　尚古園玄関自動ドア電気錠設置工事
平成30年 12月　尚古園機械浴入れ替え工事
平成30年 12月　尚古園換気扇改修工事
平成31年 3月　尚古園ガス給湯器取替工事
令和１年 9月　緑が丘デイサービスセンター事業休止
令和２年 2月　緑が丘デイサービスセンター事業廃止
令和３年 1月　尚古園プレハブ面会室設置（新型コロナ感染対策用）
令和３年 12月　尚古園新館屋上北側防水改修工事
令和４年 1月　尚古園指定居宅介護支援事業所移転
令和４年 3月　尚古園入所定員増（８４名）認可（尚古園ショートの特養転換）
令和４年 3月　基本財産の処分（尚古園の進入道路（266.5㎡）を山梨県に売却）
令和５年 2月　尚古園LED（省エネ設備）改修工事
令和５年 3月　尚古園静養室及び居室プライバシー改修工事
令和５年 3月　尚古園見守りカメラ導入及びWi-Fi環境整備工事

(2) 規　模　敷地面積

甲府市和田町2948－6　外（一部借地）　7,303.48㎡
甲府市緑が丘１丁目158番2,4,11,13　872.79㎡
甲府市中央１丁目446番地　505.11㎡

延床面積

特別養護老人ホーム尚古園　3,056.31㎡
尚古園デイサービスセンター　389.85㎡
グループホーム山径　473.91㎡
サテライト特養尚古園　923.62㎡
サテライト尚古園デイサービスセンター　220.20㎡

(3)法人の概要

法人本部・事業所の所在地	本部・主たる事業所	山梨県甲府市和田町2948番地の6			
	サテライト特養 サテ・デイサービス他	山梨県甲府市中央1丁目16番地2			
代表者名	廣瀬　朱實	法人認可年月日	昭和50年6月24日	法人登記年月日	昭和50年7月9日

(4)法人の実施事業

事業の種類		施設・事業種別	名称	施設長名 事業所長名	定員
社会福祉事業	第一種社会福祉事業	介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム尚古園	西山高美	84名
		介護老人福祉施設	サテライト特養尚古園	小川ひろみ	20名
	第二種社会福祉事業	短期入所生活介護事業 (介護予防含)	特別養護老人ホーム尚古園	西山高美	6名
		短期入所生活介護事業	サテライト特養尚古園 短期入所生活介護事業所	小川ひろみ	(空床型)
		通所介護事業 (介護予防・総合事業含)	尚古園デイサービスセンター	清水　努	25名
		通所介護事業 (介護予防・総合事業含)	サテライト尚古園デイサービスセンター	小川ひろみ	10名
		認知症対応型 共同生活介護事業	グループホーム山径	堤　輝美	9名
		認知症対応型 通所介護事業	デイサービスセンター山径	堤　輝美	3名
公益事業		居宅介護支援事業	尚古園指定居宅介護支援事業所	中村晃紹	—

(6)理事会・評議員会開催状況

(理事会)

開催年月日	出席者数	議　決　事　項
令和4年5月24日	理事　6名 監事　2名	・　令和３年度 事業報告について ・　令和３年度 決算報告（監査報告）について ・　監事の退任及び監事候補者の選定について ・　定時評議員会の招集と提出議案について
令和4年10月28日	理事　6名 監事　2名	・　令和4年度補正予算について ・　職員給与規程の一部改正について ・　評議員の退任及び評議員候補者の推薦について ・　評議員選任・解任委員の選任と招集について ・　臨時評議員会の招集と議題決定について（決議の省略）
令和4年12月21日	理事　6名 監事　1名	・　尚古園静養室及び居室プライバシー改修工事の実施について ・　尚古園通信環境設備導入工事の実施について
令和5年3月23日	理事　5名 監事　1名	・　令和4年度補正予算について ・　令和5年度事業計画について ・　令和5年度予算について ・　役員等報酬規程の改正について ・　給与規程の改正について ・　組織規則の改正について ・　経理規程の改正について ・　臨時評議員会の招集と議題決定について（決議の省略）

(評議員会)

開催年月日	出席者数	議　決　事　項
令和4年6月19日	評議員6名 理事　2名 監事　2名	定時評議員会 ・　令和３年度事業報告について ・　令和３年度決算（監査報告）について ・　監事の退任及び次期監事の選任について
令和4年11月14日	評議員7名	臨時評議員会（決議の省略） ・　令和4年度補正予算について ・　給与規程の改正について
令和5年3月31日	評議員7名	臨時評議員会（決議の省略） ・　令和４年度補正予算について ・　令和５年度事業計画について ・　令和５年度予算について ・　役員等報酬規程の改正について ・　給与規程の改正について ・　組織規則の改正について ・　経理規程の改正について

(7)法人経営会議開催状況

開催年月日	議　　事
令和4年4月28日	・令和４年度抱負・目標について・法人運営方針・新年度予算の執行・新年度人事体制　・処遇改善手当・ホームページの更新・法人経営実績・新型コロナ感染症対策・稼働状況報告・外国人技能実習生の受入れ・経営会議のあり方・安全運転教育　ほか
令和4年5月27日	・理事会報告・令和3年度決算及び事業報告・定時評議員会、理事会の開催予定・外国人技能実習生の紹介と指導・新型コロナ感染症対策・法人経営実績報告・人事状況・勤務評価の実施　ほか
令和4年6月24日	・定時評議員会報告・勤務評価結果・賞与及び処遇改善手当等の支給・パート職員への特別手当支給・人事状況・法人経営実績報告・稼働状況報告・安全運転について・新型コロナワクチン４回目の接種について　ほか
令和4年7月28日	・公用車の運転（夏の交通安全運動）・人事状況・法人経営実績報告・各事業所の稼働状況・光熱水費の使用状況・新型コロナワクチン接種について・関東ブロック及び山梨県老人福祉施設研究総会について・第３者委員会開催予定・夏祭り　ほか
令和4年8月26日	・新型コロナ感染症まん延防止対策・送迎時の安全運転・人事状況　・介護職員等ベースアップ等支援加算・補正予算調書の提出・法人経営実績報告・稼働状況報告・光熱費使用状況報告・第３者委員会報告・高齢者施設等エアゾル感染対策強化事業について　ほか
令和4年9月30日	・秋の交通安全週間・公共料金等経費の削減・ストレスチェックの実施・介護職員処遇改善支援補助金計画書の変更・給与支払明細書の様式変更・人事状況・法人経営状況報告・稼働状況報告・アルコールチェック表の変更・インフルエンザ予防接種・地域環境美化清掃の協力・甲府市社会福祉協議会職員表彰・女性活動推進法等への取り組み　ほか
令和4年10月27日	・理事会開催・安全運転指導・有給休暇の計画取得の徹底・賞与に係る勤務評価表の提出・法人経営実績報告・稼働状況報告・補正予算の執行・保険会社の変更・５回目コロナワクチン接種・専門学校実習生の受入れ・新人教育・たばこの火の始末・外国人技能実習生生活用品の寄付依頼・甲府市実地指導、指導監査の実施（尚古園、尚古園デイ、サテ尚古園、サテ・デイ　ほか
令和4年11月25日	・冬季賞与の支給・新型コロナ及びインフルエンザ感染症対策・人事状況・勤務評価結果・パート職員特別手当の支給・安全運転の徹底・法人経営実績報告・稼働状況・嘱託パート職員の雇用に関する意向調査・尚古園デイ新型コロナクラスター発生状況　ほか
令和4年12月23日	・年末年始の対応（介護事故：交通事故：職員の健康管理）・喫煙の取り扱い・新型コロナ感染症対策・人事状況・法人経営実績報告・稼働状況・令和５年度予算調書の提出・安全運転教育指導・BCP事業継続計画への取り組みについて　ほか
令和5年1月27日	・年度末に向けて・ネパール技能実習生の受入れ・新型コロナ感染症対策・火の用心と交通安全・ベースアップ加算（旧処遇改善支援補助金）の支給額・人事状況・法人経営実績報告・稼働状況・節電について・尚古園静養室及び居室プライバシー改修工事・尚古園見守りカメラの導入と通信環境整備・第３者委員会の開催　ほか
令和5年2月24日	・３月理事会の開催・令和５年度法人事業方針（案）・各事業所の新年度事業計画書の作成・借入金の完済について・法人経営実績報告・稼働状況・光熱水費の節減・人事状況・新型コロナ対応の弾力化・甲府市実地指導・指導監査の結果報告　ほか
令和5年3月24日	・新年度職員体制・３月理事会結果報告　・年度初め式及び辞令交付式　・令和５年度介護処遇改善手当・規則改正等（給与規程・組織規則・経理規程）・法人経営実績報告・稼働状況・令和４年度事業報告書の作成・人事異動の内示　ほか

(8)善隣会職員数（令和５年3月31日現在）

事　業　所	職　員　数					異　動　（年間）			
	正職員	嘱託職員	パート	非常勤	合計	採用	退職	異動 出	入
法　人　本　部	2	1	0	0	3	0	0	0	0
特別養護老人ホーム　尚古園	41	8	11	1	61	12	8	1	0
サテライト特養　尚古園	9	3	2	0	14	2	3	2	1
尚古園デイサービスセンター	7	2	1	0	10	2	4	0	1
サテライト尚古園デイサービス	1	4	2	0	7	0	0	0	1
グループホーム山径	5	3	2	1	11	0	1	0	0
尚古園居宅介護支援事業所	1	1	0	0	2	0	0	0	0
合　　計	66	22	18	2	108	16	16	3	4

2、令和４年度事業報告

令和４年４月１日～令和５年３月31日

令和４年以降、新型コロナウイルスは感染力が強いデルタ株に変化し、また、令和５年に入り第８波の感染者数が再び拡大しましたが、我が国においても新型コロナ感染症から脱却し平時に近い社会経済活動が可能となる方向転換が図られており、本年５月からは感染症上の位置づけが、２類相当から季節性インフルエンザと同じ５類に引き下げられることとなっております。

善隣会における新型コロナ対策については、今まで感染症対策委員会が中心となり全職員が必死で新型コロナの侵入阻止を図ってまいりましたが、残念ながら昨年１１月から１２月にかけて３事業所においてクラスターが発生し、ご利用者やご家族に多大なご心配とご迷惑をおかけしたところであります。

また、今回のクラスターにより通所施設の稼働率に大きな影響をもたらしたことを深刻に受け止め、善隣会における在宅介護部門の運営強化を図るための取り組みを進めてきたところであります。

近年の介護報酬改定や長引くコロナ禍にあって高齢者施設は大変厳しい運営状況が続いており、また、長引く介護職員不足により職員の業務負担も増加しております。

このような状況を克服し高齢者福祉施設として“安全で質の高い介護サービスの提供”という本旨を実現させるため、令和４年度法人運営に掲げた重点目標についての進捗状況を報告いたします。

１，健全な法人経営の推進

（１）経営の安定化について

各事業所では、年度当初に掲げた稼働目標の達成と経費の節減に努める中で、経営の安定化に取り組んでまいりました。

特に、昨年度、特養尚古園の稼働率低下の大きな要因となった入院者を如何に減らしていくかが、大きな課題となっておりました。

そのための方策として、日頃から嘱託医と医務・介護が密接に連携し、継続した内服治療や健康管理に努めるとともに、相談員は医療機関と連携して入院の有無を見極め、入院期間の短縮を図ることに取り組んでまいりました。

その結果、必ずしもすべてがその成果であるとは言えませんが、入院者数は半減し入院期間は３分の１に短縮されたところであり、今年度の稼働率確保に大きく繋がったものと考えております。

令和４年度事業活動収入は、昨年末の新型コロナクラスターの発生による通所事業所の休業や利用控え等があったものの、施設系の稼働率の安定や尚古園入所定数増と新規加算の獲得や補助金収入により前年度を上回る収入が見込まれます。

一方、事業活動支出については、修繕費など事務費の節減に努め一定の成果を上げておりますが、外国人介護実習生の採用等による人件費の増、さらに光熱水費の高騰や空気清浄機の購入等により、前年度を上回る支出が見込まれます。

その結果、令和４年度の事業活動資金収支見込みについては、何とか黒字経営が担保されるものと考えております。

（２）LIFE を活用した新規加算の獲得について

LIFE とは、令和３年度に特養尚古園で運用を始めた「介護ケアシステム」などの機能を活用して科学的介護データベースの構築に努め、個々の入所者にとってどのようなケアが望ましいかなど、科学的な根拠理由を明確にして介護の質を高めるシステムであります。

令和４年度は、新規加算獲得の条件を満たすための組織体制の整備や、LIFE の構築を図るための取り組みを進め、次の４つの加算獲得が実現したところであります。

①科学的介護体制加算　②栄養マネジメント強化加算　③個別機能訓練加算Ⅱ　④褥瘡マネジメント加算であり、年間収入見込み額は約４２０万円となり介護保険収入増の大きな要因となったところであります。

今後も、LIFE 関連予算の獲得が重要となりますので、法人全体で積極的な取り組みを行い介護保険収入の増加に取り組んでまいります。

（３）在宅介護部門強化のための組織改正

善隣会における稼働率の入所施設部門と在宅介護部門を比較した場合、入所施設については概ね稼働目標を達成しておりますが、在宅介護においては、長引く新型コロナ感染症等の影響もあり稼働率が伸び悩んでおります。

介護保険収入の増加を図るには、伸びしろのある在宅介護部門の強化・刷新を図ることが急務であると考え、令和５年度に向けた組織改正の検討を行ったところであります。

改正の目的は、善隣会の在宅介護部門の運営強化を図るため、「在宅サービス統括管理者」ポストを新設するものであります。

在宅サービス統括管理者は、在宅介護部門である　①特別養護老人ホーム尚古園ショートステイ　②尚古園デイサービスセンター　③サテライト尚古園デイサービスセンター　④デイサービスセンター山径　⑤尚古園指定居宅介護支援事業所の管理者を指揮し、在宅介護に関する統括管理を行うものであります。

令和５年４月１日に施行して、在宅介護部門の稼働率向上を図ってまいります。

（４）緑が丘事業用地の活用計画について

緑が丘用地は、平成２５年５月に新規事業用地として取得しましたが、現在まで遊休地として保有したままであります。

そのため、令和４年９月までに延６回の法人会議（理事長以下６名で構成）を開催し、当該事業用地の活用について協議検討を行ってまいりました。

この事業は、法人経営基盤の強化と組織の活性化に繋がるため、地域ニーズに応えられる事業であり、健全な事業運営が担保され、行政の支援が得られること。

また、善隣会が持続可能な法人経営を推進するため、将来に向けて最も有効性が高く、当該事業のノウハウを熟知し、実現性が高い。ことなどを基本方針とする中で、次のとおり「緑が丘事業用地の活用計画」を策定いたしました。

「グループホーム山径を“緑が丘事業用地”へ移転し，２ユニットに増設するとともに、現グループホーム山径を特養尚古園ショートに転換する」

この活用計画を実現するためには、令和５年度の「甲府市介護保険事業計画策定委員会」で策定される「第９次甲府市介護保険事業計画（実施期間：令和６年度～令和８年度）に「認知症高齢者のグループホーム事業」が位置づけられることが前提条件となります。

策定審議会では、「日常生活圏域における地域密着型サービスサービスの状況と財政的観点を勘案して適正な整備計画を策定する」ことを基本としており、現状で善隣会の活用計画が、甲府市介護保険事業計画に位置付けられるかは未定であります。

したがって、善隣会では、令和５年度に策定される第９次甲府市介護保険事業計画の動向を注視しながら、当該事業の実現に向けて取り組んでまいります。

２，新型コロナ感染症対策について

新型コロナウイルス防止策として、嘱託医の協力をいただき４回・５回目のワクチン接種を、すべての法人職員と特養尚古園・サテライト特養尚古園・ＧＨ山径・ショートステイの利用者に実施しました。

また、家族の面会制限をお願いするとともに職員以外の施設入室時には抗原検査を実施するなど、以前より実施している手指消毒、マスクの着用、３蜜の回避など感染症の防止対策の徹底に努めてまいりました。

しかし、昨年１１月から１２月にかけ、尚古園デイサービスセンター・サテライト特養尚古園・サテライト尚古園デイサービスセンターの３施設においてクラスターが発生し、職員体制の確保を含め事業所運営が危機的状況となったところでありますが、ご利用者やご家族の協力と職員の懸命なる対応によって１２月後半には終結したところであります。

その後、甲府市のコロナ対策として高齢者施設に抗原検査キットが配布され、職員等を対象に週２回の検査を出勤前に実施するなど、施設内にコロナを持ち込まないよう取り組んでおります。

なお、本年３月１３日からは、マスク着用の緩和措置が実施されておりますが、高齢者施設においては引き続きマスクの着用を行っていくこととしています。

３，BCP（業務継続計画）の策定について

令和４年度、特養尚古園では、感染症や自然災害が発生した場合の必要なサービスが安定的・継続的に提供できるよう BCP 策定に取り組んだところであります。

計画策定に当たっての基本方針は、①入所者の安全確保　②介護サービスの継続　③職員の安全確保の３項目を掲げました。

まず、新型コロナウイルス感染症発生時の BCP についてであります。

新型コロナウイルス感染症が施設内で発生した場合において、ご利用者や職員の安全確保とサービス提供を継続するための実施すべき事項と平時から円滑に実行できるよう準備すべき事項を定めたものであります。

発生状況に応じて対応ステージを４段階に分類し、項目ごとの対応事項や役割分担を取り決めております。

①ステージ０（平時の備え）

BCP のメンテナンス・周知（研修・訓練計画）とステージ１以降の緊急時対応を見据えた事前準備を行います。

②ステージ１（初動対応）

感染症の流行期の中、発熱者や体調変化のご利用者への対応が中心となり、感染症対策委員会の対応が基本となります。

③ステージ２（感染拡大防止体制の確立）

国内での感染が拡大し、県内においても新型コロナウイルス患者の接触歴が疫学調査で負えなくなった状態で、非常事態宣言やまん延等防止措置が発令され、高齢者施設等でクラスターの発生報告がある状態であります。

特養尚古園においても、クラスターの発生リスクが想定されるため、最大限の警戒態勢で業務を維持するとともに、職員やご利用者の感染者報告に応じて対応職員体制をリストアップして、施設内発生時においての業務継続シフト体制を実施します。

④ステージ３（小康期）

新型コロナウイルス患者の発生が減少し、低い水準でとどまっている場合は、基本的にステージ０の体制に戻ることとします。

次に、災害発生時の BCP であります。

特養尚古園は、山の傾斜地にありますが地盤は強い地域であります。

想定される災害は、大雪・台風・大雨・地震による土砂崩れや崖崩れによる建物被害と、道・水・電気等ライフラインの遮断であり、特に道路の寸断が一番懸念されるところであります。

この計画では、①地震災害　②風水害（洪水）③大規模雪害ごとの想定被害への対策や優先業務の選定、職員の役割分担、研修・訓練の実施、BCP の検証や見直しに関する対応策を示しております。

また、地域とのより密接な連携も必要となり、和田町自治会とも災害協定を結び、相川地区の防災訓練にも参加致したところであります。

特養尚古園の訓練ではライフラインの寸断を想定し、ガスボンベ及び防災窯の運用を行ない、その際作りました豚汁についてはご利用者に提供して喜ばれております。

BCP は策定することに意味があるのでなく、運用・検討・修正を行ない続けることで、ご利用者やご家族への信頼が維持できるよう実効性のある計画策定に努めてまいります。;

４、外国人介護技能実習生の受入れ

第１期生のインドネシア技能実習生３名は、昨年５月１４日に特養尚古園に着任して、今日まで日本での生活に馴染む中で順調に介護技術の習得し、本年４月からは夜勤業務を開始しております。

その間、１年目の１号実習生から２・３年目の２号実習生に移行するための評価試験に全員が合格し、貴重な戦力になりつつあります。

また、安定した介護職員の確保には外国人技能実習生に頼らざるを得ない状況のため、令和５年度においても第２期生としてネパール技能実習生２名の受け入れを決定し、本年４月２４日に特養尚古園に着任することとなっております。

インドネシア技能実習生と同様に、一日も早く特養尚古園での介護生活に順応できるよう支援してまいります。

５，施設整備の実施について

（１）静養室改修工事

特養尚古園静養室の整備充実を図り、看取り者と家族等の宿泊を可能とした看取り対応が促進できるよう改修工事を実施しました。

（２）居室プライバシー改修工事

特養尚古園及び併設するショートステイ用居室（多床室５室）に、プライバシー保護のための“間仕切り”を設置し、居住環境の質の向上を図りました。

（３）見守りカメラの導入及びWi-Fi環境整備

特養尚古園の居室にプライバシー保護の観点にも配慮する中で、２５台の見守りカメラを設置いたしました。

見守りカメラは、緊急時に入所者の状態をすぐに確認し、迅速に対応することに役立つことや、入所者が事故にあうリスクを軽減する効果と夜間業務の効率化が図れるとともに、映像記録の保存により正確な状況把握が可能となるシステムであります。

また、見守りカメラの導入に伴いWi-Fi環境の整備を行いましたので、今後は安定したICT機器の活用が図れると考えております。

3、運営組織

委　員　会

〈第三者委員会〉

苦情などの適切な解決を目指し対応してきた。年２回（８月と２月）開催され「苦情申し立て」について報告がされた。また、苦情とは別に利用者等から寄せられたニーズ等へ対応してきた状況について報告もされた。会議では第三者委員から、より良い支援につなげられるようなアドバイスやご意見を頂いた。

昨年度に引き続きコロナ禍という状況から上半期は書面開催とし、各事業所や委員からの意見等のコメントが多く寄せられ充実できる内容となった。

下半期は対面会議が開催でき、有意義な意見交換が行えた。

第三者員委員会苦情報告件数

（上半期）→①特養…１件、②サテライト特養尚古園…0件、③GH山径…0件、④尚古園デイ…0件、⑤サテライトデイ…0件、⑥山径デイ…0件、⑦尚古園居宅…0件

（下半期）→①特養…０件、②サテライト特養尚古園…0件、③GH山径…0件、④尚古園デイ…0件、⑤サテライトデイ…0件、⑥山径デイ…0件、⑦尚古園居宅…0件

＊今年度は上半期に特養尚古園での苦情が１件発生。

このケースは特異なケースであり、市の介護保険課の介入もお願いした経緯があり完全な解決には至っていない。今回のようなケースは入園時における「身元引受人」の選択においても留意してゆく必要があり、ますます施設側の窓口となる職員への負担が大きくなるものと懸念されるが、今後も委員会は利用者・家族の視点に立ち、正しく評価、意見できる立ち位置でいたいと考える。

〈教育・研修委員会〉

個々の事業の実情に沿った内容で、各事業所リーダーが自事業所の研修を計画し、実践していく形で進めてきた。担当職員にとって、計画～準備～実施～報告の一連の流れを実践し、知識を深め、人に伝え

る技術などの学びの機会となり、各事業所リーダーのみでなく中堅職員のスキルアップに繋がる貴重な機会となっている。

なお、各事業所での年間研修は計画通り実施することが出来た。

〈リスク対応委員会〉

高齢者施設において発生しうるリスクに対応するために、総合的にリスクに対応できる委員会として活動を行ってきた。

特に新型コロナウイルス感染症の予防対応については、2事業所においてクラスターが発生してしまったが、稼働率低下は招いてしまったが、対外的な大きなトラブルはなかった。それぞれの事業所の特性を踏まえた感染対策を徹底するとともに、感染者が発生した際の対応を踏まえた業務継続計画（BCP）の策定など、高齢者事業所として安全に安心して利用していただける対策の徹底に努めた。

〈衛生委員会〉

職員の健康診断の結果に基づき実施した保健指導及び産業医の指導による腰痛対策などを通じて、職員の健康管理の取組み等を実施した。

メンタルヘルス対策及び腰痛対応については、産業医と連携して予防対策を中心に必要な対応を実践することで、職員が安心して仕事ができる体制を整えた。

会　　議

〈法人経営会議〉

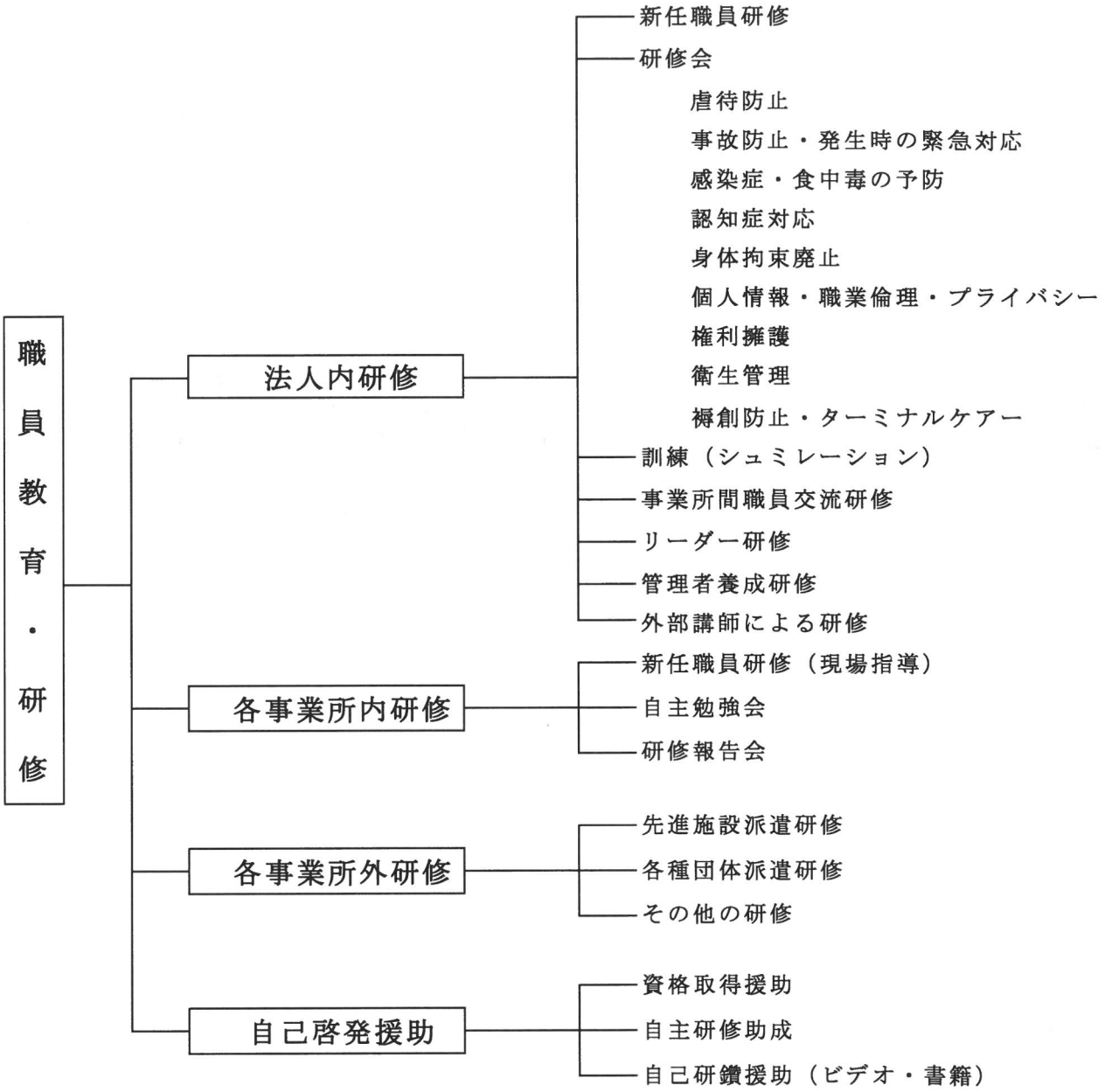
理事長・常勤理事及び各事業所の管理者等で構成し、法人運営の最高決定機関として、法人事業全体の適切な運営及び経営について協議を行った。

理事長及び業務執行理事から経営状況や当面する課題や人事を中心とする組織運営状況、法人事務局長から介護事業収入状況や介護情報の提供が行われた。また、各事業所の稼働状況（稼働率）への対応や施設整備に関する協議、また、直面している各種課題についての協議・検討を行い、積極的な議論の場としての活用を図る中で重要業務の意思決定を行ってきた。

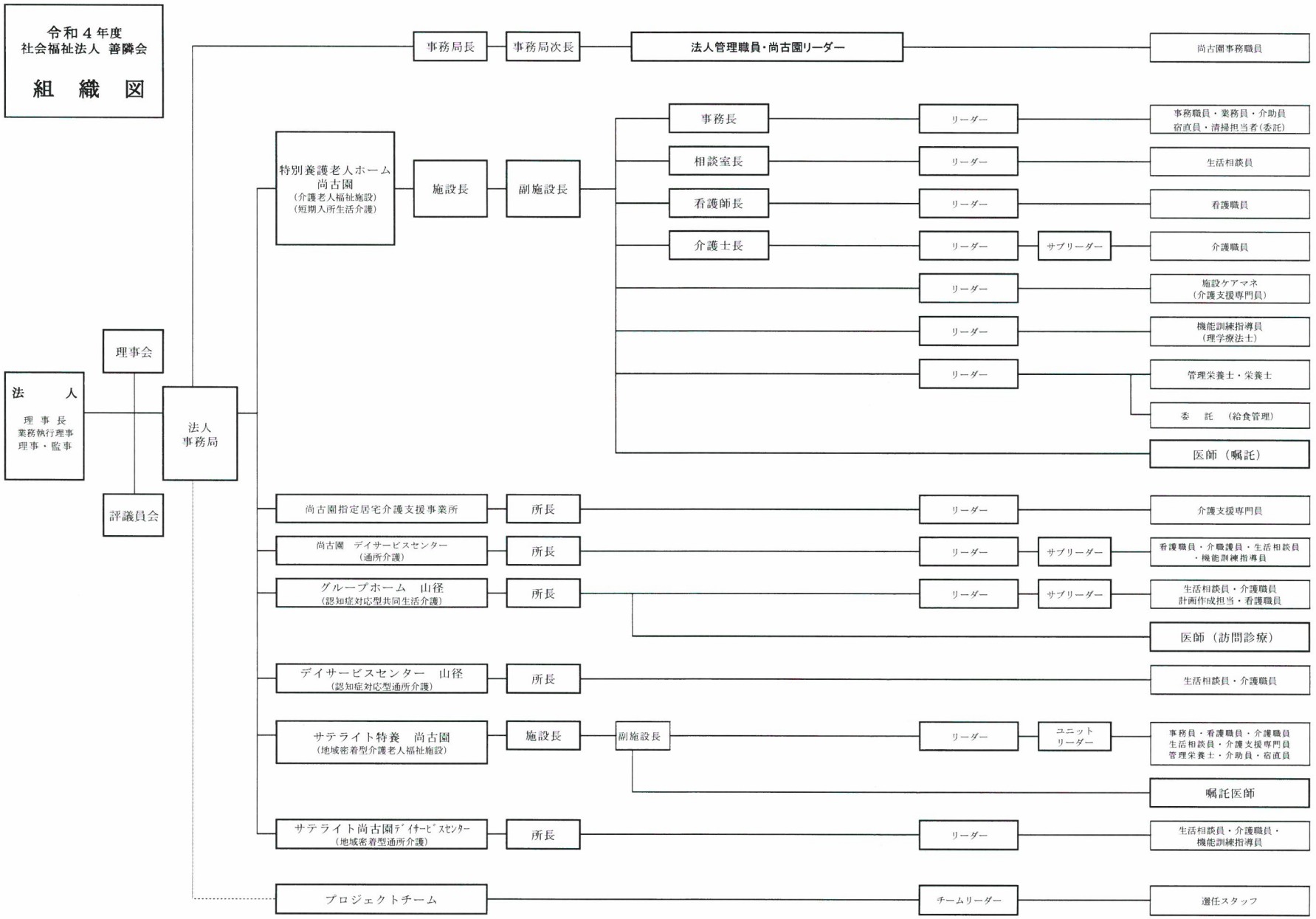
〈事業所連絡会議〉

各事業所の運営者・生活相談員等で構成し、各事業所の持つ情報を共有しつつ協力し合い、多様化する利用ニーズに合うサービス提供やより良いケア実践を行うための検討と意見交換の場として開催した。

（福）善隣会　令和４年度職員教育・研修体系



令和４年度
社会福祉法人 善隣会
組　織　図



＊　この組織図は、令和4年度の機能組織図です。

令和4年度稼動状況

		単価		2022年4月	2022年5月	2022年6月	2022年7月	2022年8月	2022年9月	2022年10月	2022年11月	2022年12月	2023年1月	2023年2月	2023年3月	年間	月平均
尚古園	定員数			84	84	84	84	84	84	84	84	84	84	84	84	1,008	84
	稼働率			96.15%	99.69%	97.94%	96.74%	94.97%	97.34%	96.54%	97.78%	96.58%	98.27%	96.64%	94.35%	96.92%	96.92%
	稼働日			2,520	2,604	2,520	2,604	2,604	2,520	2,604	2,520	2,604	2,604	2,352	2,604	30,660	2555
	平均介護度			3.84	3.88	3.88	3.82	3.82	3.77	3.76	3.75	3.71	3.71	3.71	3.71	3.78	3.78
	施設利用延べ利用者数			2,423	2,596	2,468	2,519	2,473	2,453	2,514	2,464	2,515	2,559	2,273	2,457	29,714	2476
	要介護1	573		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護2	641		120	124	90	93	93	90	93	90	93	93	63	62	1,104	92
	要介護3	712		870	899	853	923	891	924	927	937	1,029	1,023	943	1,043	11,262	939
	要介護4	780		717	744	797	837	868	911	975	934	909	976	859	889	10,416	868
	要介護5	847		716	829	728	666	621	528	519	503	484	467	408	463	6,932	578
尚古園ショート	定員数			6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72	6
	稼働率			121.11%	112.37%	105.00%	123.66%	100.54%	107.22%	112.90%	102.78%	106.99%	66.13%	102.38%	84.95%	103.83%	103.83%
	稼働日			180	186	180	186	186	180	186	180	186	186	168	186	2,190	183
	平均介護度			3.17	3.28	3.69	3.63	3.79	3.59	3.12	2.94	3.25	3.69	3.41	3.65	3.43	3.43
	施設利用延べ利用者数			218	209	189	230	187	193	210	185	199	123	172	158	2273	189
	要介護1	596		0	0	0	0	0	11	31	30	0	0	0	0	72	6
	要介護2	665		80	71	42	36	0	3	18	32	62	31	31	10	416	35
	要介護3	737		64	56	17	60	81	83	101	83	81	34	90	90	840	70
	要介護4	806		30	35	88	88	65	53	14	0	0	0	1	3	377	31
	要介護5	874		44	47	42	46	41	43	46	40	56	58	50	55	568	47
特養+ショート稼働率				97.81%	100.54%	98.41%	98.53%	95.34%	98.00%	97.63%	98.11%	97.28%	96.13%	97.02%	93.73%	97.38%	97.38%
サテライト	定員数			20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240	20
	稼働率			100.00%	99.84%	90.00%	108.39%	100.00%	99.83%	98.23%	97.50%	94.68%	90.48%	100.71%	97.74%	98.12%	98.12%
	稼働日			600	620	600	620	620	600	620	600	620	620	560	620	7,300	608
	平均介護度			3.80	3.78	3.83	3.96	3.92	3.90	3.90	3.84	3.78	3.68	3.65	3.67	3.81	3.81
	延べ利用者数			600	619	540	672	620	599	609	585	587	561	564	606	7162	597
	要介護1	661		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護2	730		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護3	803		240	259	210	209	203	209	217	243	279	301	312	327	3009	251
	要介護4	874		240	236	210	278	262	240	237	192	160	136	140	155	2486	207
	要介護5	942		120	124	120	185	155	150	155	150	148	124	112	124	1667	139
サテライトショート	定員数						1									1	1
	稼働率						100.00%									100.00%	100.00%
	稼働日						14									14	14
	平均介護度						3.00									3.00	3.00
	施設利用延べ利用者数						14	0	0	0	0	0	0	0	0	14	2
	要介護1	596					0									0	0
	要介護2	665					0									0	0
	要介護3	737					14									14	14
	要介護4	806					0									0	0
	要介護5	874					0									0	0
山径	定員数			9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108	9
	稼働率			100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	98.92%	99.91%	99.91%
	稼働日			270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	252	279	3285	274
	平均介護度			3.56	3.56	3.56	3.56	3.67	3.44	3.44	3.44	3.44	3.44	3.44	3.16	3.48	3.48
	施設利用延べ利用者数			270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	252	276	3282	274
	要介護1	764		0	0	0	0	0	30	31	30	31	31	28	57	238	20
	要介護2	800		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	0	334	28
	要介護3	823		120	124	120	124	124	90	93	90	93	93	84	124	1279	107
	要介護4	840		60	62	60	62	31	30	31	30	31	31	28	31	487	41
	要介護5	858		60	62	60	62	93	90	93	90	93	93	84	64	944	79

令和4年度稼動状況

		単価		2022年4月	2022年5月	2022年6月	2022年7月	2022年8月	2022年9月	2022年10月	2022年11月	2022年12月	2023年1月	2023年2月	2023年3月	年間	月平均
尚古園テ・イ	稼働日数			26	26	26	26	27	26	26	23	27	23	24	27	307	26
	定員数			25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	300	25
	延べ定員数			650	650	650	650	675	650	650	575	675	575	600	675	7675	640
	稼働率			71.38%	75.54%	73.69%	74.77%	67.85%	68.00%	70.46%	60.17%	52.89%	57.74%	58.00%	58.37%	65.74%	65.74%
	平均介護度			3.03	2.98	2.90	2.91	2.88	2.95	2.99	2.92	2.73	2.72	2.78	2.81	2.88	2.88
	延べ利用者数			464	491	479	486	458	442	458	346	357	332	348	394	5055	421
	延べ利用者数(総合事業)			38	37	40	32	31	25	42	26	36	35	29	34	405	34
	要支援1			8	7	10	8	10	4	4	2	4	4	4	5	70	6
	要支援2			30	30	30	24	21	21	38	24	32	31	25	29	335	28
	延べ利用者数(要介護)			426	454	439	454	427	417	416	320	321	297	319	360	4650	388
	要介護1	655		58	52	75	98	98	74	71	59	61	60	64	72	842	70
	要介護2	773		85	124	109	93	80	89	91	71	88	80	81	88	1079	90
	要介護3	896		144	139	119	109	107	115	106	81	92	80	78	81	1251	104
	要介護4	1018		65	59	56	62	60	62	66	55	36	36	53	73	683	57
	要介護5	1142		74	80	80	92	82	77	82	54	44	41	43	46	795	66
サテライトテ・イ	稼働日数			26	26	26	26	27	26	26	26	27	23	24	27	310	26
	定員数			10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120	10
	延べ定員数			260	260	260	260	270	260	260	260	270	230	240	270	3100	258
	稼働率			70.38%	66.92%	66.54%	68.46%	64.07%	75.77%	73.85%	65.77%	56.30%	67.83%	72.92%	65.93%	67.89%	67.89%
	平均介護度			3.09	3.16	3.32	3.18	2.76	2.96	3.05	3.33	3.31	3.24	3.09	3.19	3.14	3.14
	延べ利用者数			183	174	173	178	173	197	192	171	152	156	175	178	2102	175
	延べ利用者数(要支援)			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0
	要支援1	1672		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0
	要支援2	3428		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ利用者数(要介護)			183	174	173	178	173	197	192	171	152	156	175	173	2097	175
	要介護1	750		4	0	0	0	14	13	15	0	0	0	4	2	52	4
	要介護2	887		31	34	33	45	57	53	52	50	38	48	56	55	552	46
	要介護3	1028		100	86	77	76	68	90	75	53	56	51	61	55	848	71
	要介護4	1168		40	46	38	37	24	10	8	29	31	28	28	30	349	29
	要介護5	1308		8	8	25	20	10	31	42	39	27	29	26	31	296	25
テ・イ山径	稼働日数			26	26	26	26	27	26	26	26	27	23	24	27	310	26
	定員数			3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	3
	延べ定員数			78	78	78	78	81	78	78	78	81	69	72	81	930	78
	稼働率			82.05%	96.15%	92.31%	85.90%	82.72%	88.46%	91.03%	92.31%	87.65%	91.30%	80.56%	25.93%	83.03%	83.03%
	平均介護度			1.77	1.79	1.69	1.51	1.48	1.49	1.48	1.47	1.46	1.43	1.38	1.24	1.52	1.52
	延べ利用者数			64	75	72	67	67	69	71	72	71	63	58	21	770	64
	延べ利用者数(要支援)			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援1	483		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援2	512		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ利用者数(要介護)			64	75	72	67	67	69	71	72	71	63	58	21	770	64
	要介護1	522		34	35	35	33	35	35	37	38	38	36	36	16	408	34
	要介護2	541		11	21	24	34	32	34	34	34	33	27	22	5	311	26
	要介護3	559		19	19	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51	4
	要介護4	577		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護5	597		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
居宅	給付管理者数			65	70	70	70	65	65	66	69	66	66	64	63	799	67
	認定調査件数			4	4	6	4	4	2	2	3	4	2	3	4	42	4
	介護予防受託件数			13	10	10	11	10	12	12	12	12	12	12	11	137	11

※ 述べ利用者数は介護保険請求上の数(請求遅れ含む)であり、サービス提供の人数と異なる

特別養護老人ホーム尚古園



1、利用者生活支援状況（報告）

（1）支援方針総括

『ご利用者の立場に立った生活支援をすすめること』を基本とし、施設サービス計画に基づき一人ひとりに適した速やかで柔軟性のある援助を効果的に行うため、他職種間の連携を密にして心身の健康保持と自立支援に努め、生活の活性化が図れるように取組みを進めた。

具体的な対応として介護記録システムの定着による自立支援に向けた個別ケアの取り組みやケアの内容の充実など、介護記録のシステム化に伴い、個々のご利用者に対する対応の充実と介護記録等の共有化が今後の課題であったが、多職種間の状況共有も問題なく行なわれており、一定の成果は得られている。

また、介護事故に対する対応として、山梨県からの導入補助を得て見守りカメラの導入とWi-Fi環境設備の整備を行った。カメラの導入効果は事故発生減少だけでなく、介護職員の業務負担経験も図られると言われているが、効果検証については、判定期間も短く次年度以降の課題と考えている。

なお、制度改正に伴うBCPの策定は、災害対策については既に策定済みであったためその見直しと、コロナ対策としてのBCPは初動対応を中心に策定を行った。

様々な対応を実施した1年であったが、今年度も新型コロナ対策に追われた1年であった。その中で近隣の多くの高齢者施設が新型コロナ感染症のクラスターとなったが、尚古園においては感染対策の徹底と職員の感染防止対応により、施設内にコロナ感染を持ち込むことなく、ご利用者やご家族が安心して安全に生活ができる施設として運営することができたことが、一番の成果であった。

また、今年度より技能実習生の受け入れを始めたが、ご利用者からも信頼され、介護スタッフの一員として定着することができた。

（2）各部署からの報告

＜事務＞

- リーダーが異動となり、人員が1名減となったが、事務局職員間の連携を図り各事業所の業務が円滑に遂行できるように取り組んだ。1人当たりの業務量は増加したが、特にトラブルなく対応ができた。
- 会計事務所の変更に伴い給与システム変更を行ったが、特にトラブルなく移行手続きを実施できた。また年間を通じての勤怠管理など、事務局の業務管理は適切に処理することが出来た。
- 技能実習生の生活指導員として、日本語能力向上の対応や生活面での支援を年間通じて実施することができた。
- 新型コロナ感染予防対策として、施錠管理や来園者の入室管理、PCR検査の実施などの対策を行った。

＜医務＞

- 嘱託医である深澤内科クリニックの深澤学医師と連携して「高齢者の生活ニーズに合わせた総合的な健康管理」に取り組んできたが、温厚な性格である深澤医師の対応はご利用者やご家族からも好感を頂いており、日々の小さな困りごとにも気軽に相談ができたなど、利用者様やご家族様からの感謝の言葉が多く聞かれた。

  医務としては、高齢で基礎疾患を持ち、また人生の最終章にある方々をあずかる立場であることに留意した対応を心掛け、ご利用者が安心して安全に生活できるための支援を行なってきた。
- 施設での看取り対応は、各ケースとも、家族への説明と要望を踏まえた話し合いを重ね、他職種との協働のもと医療専門職としての役割を果たした。
- 健康診断として血液検査と胸部レントゲン検査を実施し、検査結果に基づいて、嘱託医との連携下での内服治療や日常の健康管理に努めた。
- 新型コロナウイルス感染症の施設内への持ち込みと蔓延防止に努めた。
- 長年診て頂いていた訪問歯科でご協力を頂いていた歯科若尾から甲府デンタルクリニックへ次年度より変更を行う。

＜管理栄養士＞

- 令和4年4月より栄養マネジメント強化加算の算定を開始した。今までの栄養管理に加え、栄養ケアプロセスの導入を行い、栄養管理の質の向上を図ることができた。また、施設多職種・給食委託業者との

連携により、食事内容や栄養管理について情報交換や課題についての取り組みが実施できた。

・ 栄養カンファレンスを通して、多職種で栄養管理について評価し、改善策を実施することができた。同時に、栄養部門からの栄養管理に関する情報発信を行った。

・ 各職種と連携し、行事食やイベントを充実させることができた。令和 5 年度も、行事食等を充実させていく。

＜介護＞

・ 事故ゼロの取り組みにより見守りの意識が向上した。
・ ICT や介護ロボットの導入により業務負担の軽減に繋がった。
・ 介護ソフトの導入により情報の共有、記録などの業務効率が向上した。
・ タブレットやパソコンを活用し、ご家族とのテレビ電話や動画の視聴などを楽しむ事ができた。
・ 利用者様のニーズに耳を傾け、できる事をタイムリーに実施していきたい。

＜生活相談員＞

・ 退所者数は年間 24 名（男性 4 名女性 20 名）と昨年度より 4 名減となった。うち看取りケアは 14 名となり、昨年より 6 名多く対応した。退所理由としては体調不良で入院されたが、治療中より医療依存度が高くなるケースが増え、療養可能な施設への移行を選択された方が 8 名いらした。

・ 入院による空床数は昨年比 632 床減となり、年間平均入所稼働率は昨年度を 1.4%上回った。前年度までの予備床を無くし、97.31%に留まった。

・ ショートステイが 6 床となり、ショートショートの受け入れが困難となった。新型コロナウイルス感染症対応として、当法人以外の新規ショートショート利用者受入れ中止を継続。新規利用者は二人部屋を個室対応で数日間受入れる対応を行った。

・ 6 月より入所 84 床となったが、退所者が出た際は入所の声掛けを行う間に満床で利用をお断りしているショート利用希望者の意向に沿うようご利用を提案した。

・ 新型コロナウィルス感染症対策により、オンライン面会、ガラス越し面会を実施したほか、面会中止期間には、事務連絡にご利用者の生活のご様子の写真を掲載して、ご家族に安心して頂けるようにした。

・ 新型コロナウイルス感染症対策により、ボランティアの受け入れは中止。各種行事についても施設内開催とし、感染症対策に努めた。

＜機能訓練担当＞

・ ADL や身体機能を 3 か月に 1 度評価した上で、出来るだけ長く維持が出来るよう訓練計画を作成・実施した。また、介護スタッフと協力をして御利用者の自立支援や安全に繋がる介入を検討・実施した。

・ 必要に応じて、補助具や介護用品の必要性を検討し、安全な ADL や安楽な姿勢に繋がるよう対応をした。

・ リハビリの他に利用者様の居室環境、衣類・整容などの清潔管理の面で関わりを持った。

・ コロナウィルスの影響による外出制限が続いてるが、可能な方には外出の機会を設けた。また、リハビリ時には、外気に触れて気分転換できる機会を設けるように意識して対応した。

＜介護支援専門員＞

・ 園の生活支援方針を念頭に置いて、ご入所者とご家族の意向を汲み取り出来る限り個別性と自立支援を目指した施設サービス計画書の作成を実施した。

・ サービス担当者会議において、ご入所者の状態をご家族とは、電話やオンライン会議を活用し生活のご様子や全身状態の共有に努めた。職員間では、生活上の具体的な課題や援助方法を明確にし、園での生活が充足し、且つご家族との関係性を構築することを意識し話合いを行った。

・ 終末期に対するお考えの確認については、様々な視点を持ってご家族の意向を汲み取る工夫が必要だと感じ、多職種協働で支援を進めて来た。今後も迷いながらも、ご本人、ご家族ともに安心して最期までケアを受けて頂ける様に意思決定を支援していく。

・ 多職種と連携し、直面する課題を放置しないように都度、カンファレンスを開催し話合う事で、アドバイスを得る様に努力した。
・ 平成27年度以降、特養への入所基準が要介護3以上となり、継続的な医療を必要とする基礎疾患を抱え入所される方も多い。施設の役割として重度の方をお受入れしていくためには、現状の課題に対して、益々多職種の連携が重要であり、各専門職とコミュニケーションを図りながら支援を進めて行く。
・ 平成31年度、令和元年より、施設介護支援専門員が2名体制となり、5年が経過した。これまで以上に、個々のご入所者に対する状況の把握や、課題の分析が行える様になったと感じる。しかし、現在の尚古園の課題として、年齢と共に重度化され、より多角的なご支援が必要となられた方と共に、認知症状を伴う行動障害等により、ケアの困難さや転倒骨折に至るケースが見られる。認知症ケアを深め、事故を未然に予防する取り組みが求められています。安心、安全にお過ごし頂く為に、必要なケアや安全対策等も計画書に位置付けられる様に、2名で連携し、より細やかに、より迅速に皆様の安全で安心な生活をお手伝いさせて頂ける様に取り組みます。
・ 新型コロナウィルス発生に伴い、ご入所者、ご家族に不自由な生活を強いており、お互いに少しでも安心して過ごして頂ける様に、オンライン面会や、ガラス越し面会の機会を活用し、交流する時間をご支援して来た。今後も報告、連絡、相談を心掛け、安心出来る施設生活のお手伝いをして行きたい。

（3）委員会からの報告

＜防災委員会＞

・ 年間計画に沿って、定期的に防災教育や防災訓練、設備点検等を実施。緊急連絡網や自然災害マニュアル等の整備も行った。
・ 災害についての教育も実施したが、委員以外でもしっかりと対応できるように体制を整えていく。
また有事の際に使用する防災備品の点検も実施していく。

＜身体拘束廃止＞

・スピーチロック等の行動制限について認知症ケアが身体拘束の防止につながるという事を勉強会等を通じ発信してきた。前述の通り利用者の方のBPSDについて考え、その方が何をしようとしているのか求めている事は何かをチームとして対応を考える事が身体拘束の防止に繋がるものだと思う。また日常のケアの中でもネグレクトに繋がるような事がないか考えながらひとつひとつのケアを大切に行ってほしい。身体拘束廃止と虐待防止は関係が深い為、今後も両委員会ともに協力し合っていきたい。

＜虐待防止委員会＞

・今年度は利用者サービス満足度アンケートを受けて日々のケアの内容の見直し、改善できるよう取り組んできた。その中でもコミュニケーション（職員への話し掛けやすさや言葉遣い、イントネーション等）が全てのケアの基本である事を改めて強く感じた。虐待防止という考えにとらわれるのではなく、「より優しく、より大切に」を常に心掛け、目指していく事で虐待に繋がることは無くなっていくものだと思う。今年度も全てのケアの基本となるコミュニケーションの重要性を意識し、日々のケアを大切に取り組んでいってほしい。

＜食事検討委員会＞

・ 令和4年度は、「多職種連携による「個別の栄養管理」をより強化し、科学的根拠に基づいた食事・栄養管理を提供することで、ご利用者のQOLの維持・向上を図る」を目標とした。介護システムの導入により、情報を素早く収集でき、給食・栄養管理を検討する時間を多く持つことができた。検討する際には、各種ガイドラインや文献等を参考にして、可能な限り科学的根拠に基づき、給食・栄養管理を計画するようにした。令和5年度もご利用者のQOLの維持のために取り組みを行いたい。

・ 会議前に意見を収集することで、会議自体の議論を活発にすることができた。令和 5 年度も同様の方法で会議を行っていく。

＜感染症対策委員会＞

・ 今年度は、前年度と同様に年間を通して、新型コロナウィルスの感染防止に向けた取り組みを行った。

・ 感染症の研修会は、6 月は「感染症対策。基本を学ぶ」について動画を視聴し、レポートで学びを確認した。12 月は、ノロウイルス感染症の対応として基本的な嘔吐物処理方法と手袋エプロンマスク等の正しい扱い方について動画を作成しオンライン学習を行った。

新型コロナウイルス感染症の波は繰り返しており、施設に入り込めば、たちまちクラスターになってしまう。多床室の当施設はクラスター発症のリスクも高いので、基本的な感染症対策を徹底し、感染対策に基づく職員の健康管理や私生活上の注意も必須である。

近隣の施設でクラスターが発生し、11 月はサテライトやデイサービスでクラスターが発生した。本体で陽性者が発生した場合の対応について BCP の一部として資料作成し、対策を職員間で共有した。

＜介護事故防止委員会＞

アクシデント発生件数は 109 件と、前年度の 83 件に比べ 26 件増加したが、骨折については 1 件と前年度の 9 件から大幅に減少した。又、ヒヤリハットの件数は、前年度 286 件から 252 件と 34 件減少した。転倒リスクの高い利用者様が増えたが、見守り職員を配置し、センサーマット、離床センサー、見守りカメラ等を活用し対応した成果があったと思われる。又、骨折については、介助での過誤等は無かったので、この流れを大切に今後も事故を未然に防ぐ取り組みを行っていく。

＜褥創防止対策委員会＞

・これまで同様に褥瘡発生を予防する取り組みを続けながら、ケアカルテを用いて、褥瘡マネジメント加算取得体制を構築した。令和 4 年度 4 月から 3 カ月をかけてご家族の承諾を得て加算開始し、1 年間を通し継続できた。看護師、管理栄養士、PT、介護職員の記入が必要であり、他職種で考察できた。

「褥瘡に関するスクリーニング・ケア計画書」を厚労省に提出した。

・褥瘡発生した方は 6 名であった。対策を行い、再発生することは少なくなっている。ほとんどの方が治癒する期間も 2 週間程であるが、低栄養状態の方は繰り返している。

・IAD（失禁関連性皮膚炎）の発生が 19 名おり、原因は持続する尿便失禁でオムツ着用による皮膚の浸軟の可能性が高い。排泄掛と連携し、オムツ内の予防的スキンケアに努めた。

・勉強会は「褥瘡の基本」を介護職員が資料配布を行い、職員のレポート提出で学びを確認した。新型コロナ感染症拡大の為、書面のみとなった。

＜医療行為検討委員会＞

・ 看護と介護の連携のもと、トラブルなく、安全に医療行為（経管栄養 3 名）や夜間の痰吸引の実施ができた。

・ 介護福祉士 3 名に「認定特定行為業務従事者」の実地研修を行った。認定特定行為業務従事者認定書を取得した

・ 看護師 1 名が指導看護師の研修に参加し、2 名体制となった。

2、年 間 行 事 表

年　間		月　間	旬　間	週　間	日　課
R4.4月	花見会 花見浴	お誕生日会	歯科診察 （第1･3木曜日）	内藤医師診察 （水曜日）	機能訓練
5月	端午の節句 母の日	諏訪神社参拝			
6月	父の日 創立記念日	物故者供養			
7月	七夕祭り				
8月	納涼会	墓参り			
9月	敬老会 十五夜	理髪			
10月	十三夜　　運動会 紅葉浴	出張美容室			
11月	焼き芋会				
12月	忘年会 クリスマス会 もちつき	ひまわり会			
R5.1月	新年祝賀会	お好みメニュー			
2月	節分				
3月	ひな祭り 物故者慰霊祭				

3、職員研修状況

(1) 施設外研修

令和4年4月～令和5年3月

年月日	研修主催者	研修内容	参加人数	研修場所
R4.7.27 2週間	日総研	生活相談員研修	2	オンライン
R4.9.26	山梨県社会福祉協議会	介護施設における苦情対応の実勢	1	山梨県福祉プラザ
R4.9.7 ～12.6	介護労働安全センター	認知症介護実践研修（リーダー研修）	1	オンライン
R4.9.12 ～12.12	全国老人福祉協議会	施設入所･退所時の事務手続等対応研修	2	オンデマンド動画配信
R4.9.15 9.16	全国社会福祉法人経営者協議会	新たな社会課題への挑戦	1	リンクルステーションホール青森
R4.11.22	山梨県感染症対策センター	新型コロナウイルス感染症介護事業所向け研修会	1	ベルクラシック甲府
R5.2.15	山梨県老人福祉協議会	令和4年度カントリーミーティング（関東･九州ブロック）の開催について	1	オンライン
R5.3.24	山梨県災害福祉支援ネットワーク	山梨県ＤＷＡＴ登録員となるための基礎知識及び技術の習得	1	アイメッセ山梨

（2）施設内研修

初任者研修

月　　日	内　　容	担　　当
4月 1日（金） 5月 2日（月） 5月 9日（月） 10月 17日(月)	法人事業・事業計画・就業規則・職業倫理・衛生教育 防災教育・生活支援・事故防止・機能訓練・介護保険 身体拘束廃止虐待防止・医療・感染対策・ターミナルケア 食事・介護・記録　等について	各担当責任者

月次施設研修

月　　日	内　　容	担　　当
4月 25日（月）	事故防止について	前年事故防止委員会 鮎川・布施
5月 23日（月）	権利擁護及び虐待防止	虐待防止委員会 近山・志村
6月 27日（月）	感染症について	感染対策委員会 中込リーダー
7月 25日（月）	防災教育	防災委員会 清水サブリーダー
8月 22日（月）	身体拘束防止について	身体拘束廃止委員会 山崎リーダー
9月 26日（月）	口腔衛生について	管理栄養士 望月
10月 24日（月）	事故防止について	事故防止委員会 小田切Jリーダー
11月 28日（月）	感染症について	感染対策委員会 中込リーダー
12月 26日（月）	ターミナルケアについて	介護リーダー 相山サブリーダー
1月 23日（月）	褥瘡防止について	褥瘡防止委員会 飯島・保延
2月 27日（月）	身体拘束防止	身体拘束廃止委員会 大森
3月 27日（月）	虐待防止及び認知症ケアについて	虐待防止委員会 花田サブリーダー

4、施設実習受け入れ状況

実習機関	実習内容	期間	実人数	延べ人数
帝京福祉専門学校 （介護福祉士養成）	施設実習	9/27～10/31 23 日間	2 人	46 人
		11/15～11/22 6 日間	3 人	18 人
計			5 人	64 人

5、在宅サービス受け入れ状況

短期生活介護（ショートステイ）

年月	R4. 4	5	6	7	8	9	10	11	12	R5. 1	2	3	合計
利用者数	14	11	12	13	9	12	11	11	11	10	11	10	135
延日数	223	204	189	230	187	293	210	185	199	137	166	182	2305

年間利用実員　30 人

関連居宅支援事業所数　　13　事業所（尚古園居宅含む）

甲府市　13　事業所

6、ボランティア受け入れ状況

〈グループ別月間集計〉※ご来園順

年　月 グループ名	R4 4	5	6	7	8	9	10	11	12	R5 1	2	3	計
＜自治会・女性部団体＞													
和田町													
大手東部女性部									1				1
緑和自治会女性部													
岩窪地区女性部													
朝日地区女性部													
緑が丘老人クラブ													
相川地区女性部													
峰本女性部						1							1
上積翠寺女性部								1					1
下積翠寺女性部													
小松町女性部													
塚原女性部													
日影女性部							1						1
北新文協リメーク部													
桜自治会女性部													
＜サークル・ボランティア団体＞													
セイビドー													
ブリランテ・マンドリーノ													
一寸法師													
あんまボランティア													
さつき会													
千塚鼓友会													
二三千代会													
消防本部音楽隊													
タロー&ジロー(ウクレレブラザーズ)													
＜宗教団体等＞													
甲府福音教会													
佛念寺　藤谷真之先生													
＜学校・保育園関係＞													
押原子供園													
山梨学院大学付属高校													
山梨県美容専門学校													
KFJr 合唱団													
駿台甲府高校管弦楽部													
北新小学校													
＜個　人＞													1
＜家　族＞											1		
＜企業・法人・その他＞													
電設協会													
合　計　(団体)						1	1	1	1		1		5
(人)						1	1	1	1		1		5

※　　=雑巾、タオル寄贈の為来園

7、食事と栄養

(1) 年間行事食献立

年　月　日	行　事　名	献　立　内　容
毎月1日	誕生日会	御赤飯（栗・甘納豆）、季節感のある副食
毎月1日	お好みメニュー	主食（御飯物、麺類等）の2種類からひとつ選択
3月30日	お花見会	五目山菜ご飯、山菜の天ぷら、春野菜の煮物、桜漬け、和え物、玉子豆腐、茶そば汁、菓子類、プリン、水ようかん、飲料類
5月5日	端午の節句	いなり寿司、五目玉子焼き、春野菜の煮浸し、つみれ汁、マンゴー (おやつ)ととやき
6月24日	法人創立記念日	栗の赤飯、鶏の照り焼き、野菜田楽、酢の物、かきたま汁、オレンジ (おやつ)ねりきり
7月7日	七　夕	七夕そうめん、かき揚げ、枝豆、茄子田楽、メロン
7月23日	土用丑の日	うな丼、冬瓜のかにあんかけ、なすの和え物、すまし汁、すいか
8月12日	夏祭り	焼きそば、おでん、焼鶏、たこ焼き、焼もろこし、チョコバナナ、アルコール、ソフトドリンク、綿菓子、かき氷
9月19日	敬老の日	栗の赤飯、天ぷら、ひじきの煮物、ほうれん草のわさび和え、味噌汁、マンゴー (おやつ)ねりきり
9月23日	秋分の日	おはぎ3種、たらの塩麹焼き、ずんだ和え、豚汁、梨
9月10日 10月8日	十五夜・十三夜	十五夜：(おやつ)月見ゼリー 十三夜：(おやつ)月見ねりきり
12月24日	クリスマス	チキンライス、ポトフ風スープ、サラダ、マンゴー (おやつ)ケーキバイキング
12月27日	餅つき	(おやつ)粒あん・きなこ・黒胡麻餅
R5年 1月1日	新年祝賀会	雑煮、おせち盛り合せ、お屠蘇、みかん
1月7日	七　草	七草粥、鶏豆腐焼き、味噌田楽、春菊のわさび和え、とろろ昆布汁、りんご
2月3日	節　分	中巻寿司、金平ごぼう、浅漬け、とろろ昆布汁、キウイフルーツ (おやつ)甘酒、切山椒
3月3日	桃の節句	ちらし寿司、花形豆腐ハンバーグ、菜の花の辛子和え、すまし汁、りんご (おやつ)三色花ゼリー
3月21日	春分の日	おはぎ3種、さつま揚げの煮物、ほうれん草の梅かつお和え、すまし汁、バナナ

(2) 栄養ケア・マネジメントによる栄養リスク判定

月	人数	リスク判定別人数		
		低リスク	中リスク	高リスク
4年4月	82	21	50	11
5月	83	21	46	16
6月	83	21	46	16
7月	81	20	44	17
8月	83	23	42	18
9月	83	25	44	14
10月	81	14	54	13
11月	83	16	55	12
12月	82	21	47	14
5年1月	84	22	48	14
2月	81	22	46	13
3月	82	20	48	14
平均	82.3	20.5	47.5	14.3
全体割合	100	24.9	57.7	17.4

(3)食事内容・食形態別数

	一般食	腎臓食	糖尿病食	胃潰瘍食	肝臓食	膵臓食	脂質異常症食	貧血食	経管栄養	合計
常菜	7	12	2	0	0	0	0	1	0	22
キザミ	15	8	2	1	0	0	1	1	0	28
超キザミ	7	5	1	0	0	0	0	0	0	13
ミキサー	10	1	2	1	0	0	0	1	0	15
経管栄養	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
合計	39	26	7	2	0	0	1	3	3	81

令和5年3月31日夕食現在

8、ひまわり会（利用者の会）活動状況

※毎回、園からの情報提供、ご利用者からの要望、利用者間の話し合いを行なう。

日　時	参加人数	活　動　内　容
8月29日 15:30～16:00	6名 コロナ禍の為少数開催	・新入園者、新入職員の紹介　・9月の予定のお知らせ ・ご利用者からの要望等　・体操　・合唱
12月26日 15:00～16:00	80名	・ひまわり会忘年会を各フロアにて開催 お菓子、お茶などを食べながら今年を振り返る。

9、ご家族との連携

(1) ご家族への案内

	内　　容	
毎月	＊　諸経費・小遣等領収書の発送　＊利用料請求 ＊　介護保険等の情報提供　　＊当月及び翌月の予定のお知らせ ＊　行事等でのご利用者のお写真を「ひとこま」としてお知らせ	
該当月	4月 …	・新型コロナウイルス対策についてのご協力についての御礼 ・花見会ご報告　・生活相談員変更のお知らせ ・事務連絡発送日の変更について ・尚古園だより（第78号）
	5月 …	・マイナンバーカード申請用紙について ・環境整備について　・衣替えについて ・面会中止の継続について
	6月 …	・介護保険各種認定証・確認証の更新時期となりました ・衣替えの時期となりました ・衣類には必ず記名をお願いします ・新型コロナワクチン　追加接種（4回目）について ・ご面会について　・令和4年夏祭りについて
	7月 …	・介護保険各種認定証の更新手続きはお済みですか ・新型コロナワクチン接種について ・夏祭りの開催について　・ご面会について ・令和4年7月から生活相談員が代わります
	8月 …	・介護保険各種確認証の結果について ・夏祭りの開催について ・新型コロナワクチン接種終了について ・毎日17：30～8：30までは留守番電話に切り替わります
	9月 …	・各種減免の認定申請をありがとうございました ・介護報酬改定に伴う利用料金改定について （利用料金表・利用料金表変更確認書） ・後期高齢者医療保険証について ・長寿祝賀会を開催いたしました
	10月 …	・インフルエンザ予防接種・予防投与について ・衣替えの季節となりました ・長寿祝賀会・敬老会を開催いたしました ・冬季の面会について ・17：30～翌8：30までは留守番電話に切り替わります
	11月 …	・面会方法についてのお知らせ ・インフルエンザ予防接種について ・新型コロナワクチン5回目接種について ・17：30～翌8：30までは留守番電話に切り替わります
	12月 …	・今年も一年、ご協力頂きましてありがとうございました ・面会についてのお知らせ　・差し入れ品に関するお願い ・17：30～翌8：30までは留守番電話に切り替わります
	1月 …	・利用料金の口座振替について ・17：30～翌8：30までは留守番電話に切り替わります
	2月 …	・久しぶりの大雪となりました ・オンライン面会のお知らせ・友達登録のご案内（再通知）
	3月 …	・見守りカメラの設置について ・歯科医師の変更について ・毎日17：30～8：30までは留守番電話に切り替わります

(2) ご家族との共同活動

今年度も新型コロナウイルス感染症対策の為、6月、12月の大掃除は中止し、職員のみで6月、11月に実施。

10、利 用 者 の 状 況

(1) 年 齢 ・ 性 別

令和5年3月31日現在

年齢／性別	50～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100以上	計	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男	0	0	0	1	3	2	5	5	3	0	19	96	71	87
女	1	0	0	2	4	9	12	16	15	6	65	106	56	90
計	1	0	0	3	7	11	17	21	18	6	84			89

(2) 在 園 期 間

令和年5月31日現在

期間／性別	1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上～20年未満	20年以上	計	1人当り平均在園期間
男	6	7	4	2	0	0	0	19	2年4ヶ月
女	18	20	10	15	2	0	0	65	3年4ケ月
計	24	27	14	17	2	0	0	88	3年1ヶ月

(3) 退 園 理 由

令和４年度退園者

区分／性別	死亡			長期入院見込み	ご家族の希望	その他	計
	施設	病院	家庭				
男	2	0	0	2	0	0	4
女	12	0	0	7	1	0	20
計	14	0	0	9	0	0	24

(4) 入 園 前 居 所

令和４年度入園者

区分／性別	在宅	病院	養護老人ホーム	特別養護老人ホーム	老人保健施設	グループホーム	ケアハウス	短期入所施設	計
男	0	0	0	0	0	0	0	6	6
女	1	2	0	0	2	1	0	12	18
計	1	2	0	0	2	1	0	18	24

令和５年３月31日現在

区分／性別	在宅	特別養護老人ホーム	ショート専門棟	病院				老人保健施設	グループホーム	ケアハウス	その他	計
				一般	療養型	リハビリ	精神科					
男	2	0	10	0	0	2	0	1	0	0	4	19
女	14	0	20	3	2	1	2	5	2	0	16	65
計	16	0	30	3	2	3	2	6	2	0	20	84

(5) 介護度別人数の変化

入園者

介護度	R4.3.31 現在	R5.3.31 現在
1	0	0
2	4	2
3	28	36
4	24	30
5	24	16
合計	80	84
平均介護度	3.85	3.71

サテライト特養尚古園



1、利用者生活支援状況（報告）

(1) 支援方針総括

今年度は昨年に引き続きコロナウイルス感染症対策を重視した生活支援を続けてきたが、12月に始めて罹患者が発生しご利用者、職員のクラスターを発生させてしまった。

12月末にて終息し新年を迎えることができたが、これにより一時的にご利用者の健康状態が悪化し体力が低下してしまった。そのため終息後、集中的に体力の回復を目指したケアに支援を切り替えたことで、なんとか罹患する前の状態に戻すことができたが、その恐ろしさが骨身にしみた期間であった。

ご利用者の超高齢化、重度化が年々進み、施設は生活支援から「基本的な身体ケア」に重きを置くことが多くなっている。

「施設での看取り」は、介護職員だけでなく看護師、管理栄養士、生活相談員、施設ケアマネといった多職種がチームとなって、日々のケアをしっかり行ってきたことの現れだと評価している。

サテライト尚古園は地域密着型施設という特性により、家族やボランティア、学生など多くの人が自由に出入りし、「社会の風」を「施設」に運んでくださっていた。

コロナ禍でそのような機会は減ったが、これからも開かれた施設としてのあり方を模索してゆきたいと思う。

(2) 各部署からの報告

＜介護＞

サテライト特養尚古園では、令和４年度の重点目標を「地域密着型施設として、ユニットケアの推進と、それに基づく良質な個別ケアの提供。」とし実施してきた。

- 各入居者の「暮らし」を正しく認識し、その方に寄り添い、その方の暮らしを支える介護の実践。
- ユニットケアの概念を各職員が正しく理解し、その考えに基づいた個別性を重視したケアの提供
- 多様な生活に対応できる介護を提供する為、職員のスキルアップができるよう研修を重ねる。

常に個別ケアを念頭に入れた対応とタイムリーな業務改善を意識して取り組んできた。特に介護の基本である「身だしなみ」「清潔保持」といった部分への意識を高く持つように指導してきた。

新型コロナウイルス感染症の対策では、居室でのご家族の面会は看取り期を除き、基本的には中止としドア越し面会としていた。しかし１２月には罹患者が発生し、多数の職員と利用者が感染したクラスターとなったことは今年度の一番の反省点である。感染症の怖さを改めて痛感させられ、今後も感染対策への意識を高く持ち、再発防止に努めていきたい。

研修については、外部研修への参加は行えなかったが、内部研修の実施は予定通り行うことができた。

地域密着型介護施設としての姿をより意識し、具現化できるように、今後も引き続き取り組んでいきたい。

＜看護＞

開園当初に入園された利用者様方の高齢化に伴い「お看取り」するまでのケアを必要とされたが、経験が薄い職員もいたことから、朝会やカンファレンスまたはケアを通じ指導を行なってきた。また「ディスカンファレンス」の導入を定着した。

これにより今年度、施設でお看取りした方全員が、施設の方針でもある「できるだけ痛みがなく、きれいな身体のまま、寂しくないように」看取ることができ、ご家族からの「安心してお任せできた」という感謝のお言葉がその成果だと実感している。

利用者様のケアにあたっては排便管理・スキンケアに重点をおき入浴後には必ず全員全身に保湿剤を塗布するように統一　また「富士山体操」や職員の腰痛予防も含め「甲州弁ラジオ体操」を機能訓練の一

貫として取り組んだ。

＜管理栄養士＞

栄養カンファレンスを通して、多職種間での情報を踏まえ、食事内容の検討を行い栄養状態の改善・維持に努めた。

加算対象の療養食も継続しながら、歳時記に合わせた食事や行事・イベント食の提供を行い好評を得ている。今後も継続していく。

献立作成を委託会社本社に依頼することにより、新しいメニューも増え評価を頂いた。単一化しないよう月１回献立検討会を設定し、委託会社本社栄養士と施設栄養士で管理していく仕組みを作り継続している。

＜介護支援専門員＞

コロナ禍での生活も３年目を迎えたが、感染対策による制限を行う中での面会や電話連絡を通してご家族との信頼関係を構築しつつご利用者、ご家族の意向に沿い、個別性と自立支援を重視したサービス計画の作成に努めてきた。サービス担当者会議においては感染対策を講じた上で少人数開催とし、ご利用者の状態の報告や意向を汲み取る中で支援内容を話し合い、多職種で情報共有しながら多様なニーズに対しても柔軟に対応している。

今年度は７名の方のお看取りをさせて頂いたが、ご本人とご家族の気持ちを汲みながら「苦痛が少なく、きれいな身体で、寂しくないように」という施設の方針に沿って各専門職種がチームとなり丁寧なケアの提供を心掛けた。

日々の生活でも細やかな個別ケアに繋げられつつあるが、個々の課題について今後もその都度話し合い迅速に対応し、専門職がチームとなってケアが展開できるように努めていく。

＜生活相談員＞

今年度もコロナ禍により行事や面会の制限をさせていただくことが続いた。ご利用者、ご家族の関係性が薄れないように月々の便りのほかにも、電話連絡などで互いの近況を知らせ合えるよう対応を続けている。12月にコロナ感染のクラスターを引き起こしてしまい、ご家族には大変な心配をおかけすることとなってしまった。それでもご家族からは職員への労いの言葉を多くいただき、普段からご家族との信頼関係をしっかり築いておくことの重要性を痛感した。１月からは感染者数の減少により、抗原検査を実施して陰性確認後、居室での面会を解禁した。ドア越し面会ではなく、直接顔を合わせて手を触れ合うことができるのは、ご利用者ご家族双方にとって大きな変化であった。３月にお看取りさせていただいた方のご家族は、終末期には毎日面会に来ることができ、最期の瞬間まで付き添うことが出来た。ご家族からは何度も感謝の言葉をいただき、施設の方針に沿った看取りケアを実施することが出来たと感じている。

待機者が少ない状況が続いているが、今年度はショートステイも受け入れ、目標の稼働率98%を何とか達成することができた。待機者の確保が来年度の課題となる。

(3) 各委員会・係からの報告

＜防災委員会＞

職員の防災意識向上に努めるべく緊急避難行動を想定した訓練を実施し、多くの職員が積極的に訓練等に参加し防災意識向上を図れた。今後は防火の他に大規模震災の教訓を活かした総合的な防災対策の検討を視野に入れ、防災設備会社や消防機関等との連携含めた対応も取り入れていきたい。

＜食事検討委員会＞

ご利用者からの要望や意見などを話し合い、出来る限り希望に沿った食事提供ができるよう努力した。

給食業者や施設スタッフとの連携により、行事・イベント食の提供ができた。食べる楽しみの時間や自

己選択できる機会のひとつとして、おやつのセレクトやお好み食の提供を継続する。

衛生管理の徹底や、ご利用者の身体、疾病状況に合わせた食事の提供をおこなう為、多職種間での情報交換は必須。継続していく。

＜介護事故防止委員会＞

アクシデント・ヒヤリハットレポートが作成された際は、即座にスタッフミーティングにて分析を行ない、事故傾向、事故原因の追究から対策を講じ、各職員に事故再発の啓発を行なった。事故防止委員会を3ヶ月おきに開催し、該当月に発生した事故の再分析、事故防止対策の徹底を行った。事故防止の研修会を年度中に2回実施し、事故防止の為の教育活動を行ってきた。

今年度、新型コロナ感染症の蔓延により、常勤の介護職員が出勤停止となり、他の事業所から介護職員2名の応援要請を行った。この期間に利用者様の転倒が1件発生。他の事業所から介護職員が応援で出勤しても、安全に対応できる、利用者様1人ひとりのＡＤＬ状況、注意点など、簡易的にまとめた一覧表を作成した。今後も認知症状の重度化が増加していく事が予測される中、事故の発生を完全に抑止する事は困難であるとしても、重症化、重篤化しないよう、環境整備を推進していき、職員に対する安全啓発活動・教育活動を行って行きたい。

＜身体拘束廃止委員会＞

ご利用者の重度化に伴い、認知症状も中重度の方が増加している。これによって危険に対しての認知不足から、転倒などの事故リスクが非常に高くなっている。

そのため安全を重視することが、行動抑制につながりやすい環境になってしまい、生活支援の基本である安全、安心できる環境を求めつつ、グレーゾーンと呼ばれる領域（身体拘束の一歩手前／スピーチロック等）を各職員がきちんと認識して生活支援につなげるかがこれからも課題となる。

＜感染症対策委員会＞

本年度はコロナ感染のクラスターを引き起こしてしまい介護職員がほぼ全滅となり委員会までもが機能できなくなったため、更に「感染対策強化チーム」を立ち上げ委員以外の職員も積極的に利用者様の安全が守れるようにした。今後も活動の場を深めていく。

(4)　ご家族・地域との交流

3年連続して年2回開催していた環境整備は感染症対策に伴い職員だけで行い、本来の目的である家族交流が行えなかった。例年、ご家族や学生ボランティアを招待し、デイ合同で賑やかに開催する夏まつりも、3年連続特養のみの実施となった。

運営推進会議は、感染状況に応じて開催人数を最小限にするなどして、全6回のうち3回は開催し、それ以外では書面開催とした。

今年度は地域での行事は七夕まつりと信玄公まつりが3年ぶりの開催となり、浴衣を着て外出した。地域の重度心身障害児施設や騎馬隊の方々との写真撮影をお願いし交流を図ることができた。

来年度は地域での行事も解禁されていくと思われるため、感染対策を講じつつ、徐々にご家族・地域との交流を図っていきたい。

2、年間行事

	年　間	月　間	週　間	随　時
R4．4月	花見外出 ｻﾃﾗｲﾄ開設記念日	お誕生日会	内藤 Dr. 回診	歯科往診
5月	端午の節句 母の日（食事イベント） ＊目前で天ぷらを揚げて 召し上がっていただく	お好みメニュー	余暇の日 （日曜日）	防災訓練
6月	父の日	美容院の日	居室内整備	サービス担当者会議
7月	七夕・土用の丑の日	買い物の日		レクリエーション
8月	納涼会			
9月	十五夜・敬老会	甲府市介護相談員 訪問		外出・散歩
10月	十三夜・紅葉狩り			
11月	お楽しみランチ ＊目前でお寿司を握って 召し上がっていただく			
12月	クリスマス会			
R5．1月	新年祝賀会　七草			
2月	節分			
3月	ひな祭り			

3、職員研修状況

(1)　施設外研修

＊令和４年度はコロナウイルス感染症予防により、施設外研修の参加は見合わせた。

(2)　施設内研修

期　間	内　容	発表・講師等
R4.5	職業倫理・個人情報・プライバシー保護・権利擁護	施設長
R4.6	防災対策	防災担当
R4.7	衛生管理・食中毒予防	感染症対策委員会
R4.8	認知症ケア	統括リーダー
R4.9	防災教育	防災担当
R4.10	事故防止Ⅰ	事故防止委員会
R4.11	感染症・ノロウイルス対策について	感染症対策委員会
R4.12	ターミナルケアと褥瘡の予防	介護福祉士
R5.1	身体拘束・虐待防止について	身体拘束解消委員会
R5.2	事故防止Ⅱ	事故防止委員会

4、実習生受け入れ状況

実習内容	期間	学校名
介護現場実習　1名（2年生）	R4.8.31～ R4.10.5	大原学園

5、利用者の状況

(1)年齢・性別

令和4年4月1日

性別＼年齢	60～70	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100以上	計	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男	0	0	1	0	0	2	0	0	3	91	77	86.0
女	0	0	0	3	4	8	0	2	17	105	80	90.5
計	0	0	1	3	4	10	0	2	20			89.8

令和5年3月31日

性別＼年齢	60～70	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100以上	計	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男	0	0	1	0	0	1	0	0	2	91	78	84.5
女	0	0	0	1	4	8	1	1	17	103	78	96.7
計	0	0	1	1	4	9	1	1	19			95.3

(2)在所期間（令和5年3月31日現在）

＊平均在園年数　　3年2ヶ月

男性:4年3ヶ月　　女性:3年1ヶ月

(3)入退所状況

＊令和4年度　退所者7名　　入所者6名

＊令和5年3月31日現在　入所者数　19名

病院で死亡	0	長期入院見込	0
施設で死亡(看取り介護)	6	ご家族の希望	0
家庭で死亡	0	本体への移動	0

(4)入所前居所　　令和4年度入所者合計6名

在宅	4	グループホーム	1
(短期入所生活介護専門施設)	1	老人保健施設	0
(小規模多機能型施設)	0	養護老人ホーム	0
サービス付き高齢者住宅	0	病院(リハビリ系含む)	0

(5)入退院状況

No	性別	要介護度	入院先	病名	備考
1	女	4	市立甲府病院	右尿管結石 閉塞性腎炎	施設に帰園
1	女	4	市立甲府病院	結石除去の為の手術	施設に帰園(1ヶ月後ターミナル期に入り死亡)
2	男	4	山梨病院	コロナウイルス感染症 血小板減少症	施設に帰園

(6)介護度別人数の変化

介護度	R4.4.1現在	R5.3.31
要介護1	0	0
要介護2	0	0
要介護3	8	10
要介護4	8	5
要介護5	4	4
合計	20	19
平均介護度	3.8	3.68

(7)　栄養ケア・マネジメントによる栄養リスク判定

月	人数	リスク判定別人数		
		低リスク	中リスク	高リスク
4年4月	20	7	10	3
5月	20	6	12	2
6月	20	7	12	1
7月	20	7	12	1
8月	20	8	9	3
9月	19	7	10	2
10月	20	6	12	2
11月	20	6	10	4
12月	20	4	12	4
5年1月	18	2	9	7
2月	19	4	10	5
3月	20	4	11	5
平均	19.7	5.7	10.8	3.3

6、運営推進会議の開催

指定地域密着型サービス事業者として定期的に「サテライト特養尚古園運営推進会議」を開催。
なお、今年度はコロナ感染の状況によって、感染対策を講じて短時間で開催したり、書面開催に切り替たりした。

運営推進委員：ご利用者代表、ご家族代表、地域包括支援センター、民生委員、地域代表、学識経験者
施 設 参 加 ：施設長、ユニットリーダー、生活相談員、ケアマネージャー、管理栄養士　等

第一回 運営推進会議（令和4年5月30日 14:00～）
1. 今年度の推進委員の紹介
2. ご利用者の状況（概況）
3. 感染症対策報告～コロナウイルス感染症対策の状況等
4. 活動状況報告
5. 事故防止委員会より
6. 苦情要望窓口より
7. その他～アンケート集計結果、職員紹介について

第二回 運営推進会議（令和4年7月25日）書面開催
1. ご利用者の状況
2. 感染症対策報告～コロナウイルス感染症対策の状況等
3. 活動状況報告
4. 事故防止委員会より
5. 苦情要望窓口より

第三回 運営推進会議（令和4年9月26日　14:00～）
1. ご利用者の状況
2. 感染症対策報告～コロナウイルス感染症対策の状況等
3. 事故防止委員会より
4. 活動状況報告～夏祭りの様子
5. 苦情要望窓口より

第四回 運営推進会議（令和4年11月28日）書面開催
1. ご利用者の状況
2. 感染症対策報告～コロナウイルス感染症対策の状況等、インフルエンザワクチン接種について
3. 事故防止委員会より
4. 活動状況報告
5. 苦情要望窓口より

第五回 運営推進会議（令和5年1月30日）書面開催
1. ご利用者の状況
2. 感染症対策報告～コロナウイルス感染症クラスター発生の経緯について
3. 事故防止委員会より
4. 活動状況報告
5. 苦情要望窓口より

第六回 運営推進会議（令和5年3月27日　14:00～）
1. 管理者変更に伴う挨拶
2. ご利用者の状況
3. 感染症対策報告～コロナウイルス感染症対策の状況等
4. 事故防止委員会より
5. 活動状況報告
6. 苦情要望窓口より

尚古園デイサービスセンター



1、利用者生活支援状況（報告）

（1）総括

令和４年度は新体制の発足、開設２０周年記念プロジェクトの実施、新型コロナ感染症蔓延に伴う事業休止など当事業所にとって大きな動きのある一年であった。感染症予防対策を徹底しつつ、ご利用者・ご家族のニーズを的確に把握し一人ひとりに合った支援を行ってきたが、事業所内の感染症蔓延に伴い事業を休止せざるを得ない結果となり、適切な通所介護サービスが提供出来ない状況を招いてしまった。

平均稼働率も上半期71.9%で５月には最高稼働率75.5%となるなど好調であったが、11月の事業休止をきっかけに下半期は低迷し、関係機関との連携を強化し営業活動を行ったが、年間平均稼働率は65.75%と前年度をわずかに上回る結果に留まった。

引き続き、感染症標準予防策や衛生管理を徹底し、安定した事業所運営を目指していきたい。

（2）利用者生活支援

① 入浴サービス（一般浴・リフト浴・機械浴・展望浴）

ご利用者一人一人の健康状態を把握しつつ、身体状態に合わせた介助の方法や設備を活かした入浴サービスを提供している。入浴中は十分な見守りのもと、安全に安心して入浴をしていただけるような配慮をし、全身状態の把握や清潔の保持に加え、生活リハの観点から残存機能を活かした一連の動作に係る介助を行った。また、ご利用者の身体状態に合わせた入浴設備（リフト浴・機械浴）を使用し、ご利用者の心身状態の維持と在宅介護の負担軽減を図った。

「ゆっくり温まり、くつろげるお風呂」を目指し、浴室の壁面にご利用者創作の壁画を３か月毎に装飾したり、ラジウム鉱石や入浴剤を入れた変わり風呂、また展望浴での花見浴を提供したりして、入浴意欲への働きかけと雰囲気作りに努めた。

② 給食サービス

管理栄養士の献立のもとバラエティーに富んだメニューと、高齢者向けの味付けが大変好評である。ご飯と汁物はデイのキッチンで盛り付けのパフォーマンスを行ない、食器は陶器を使用している。新メニューの提供時など都度ご利用者から意見を頂き、メニューに反映出来るようにした。ご利用者の状態に合わせ、形態・自助具・療養食の提案を行った。また食事中の見守りを図り、食事介助が必要なご利用者への適切な援助と共に、食の楽しみを感じられるようにした。食前の嚥下体操の実施は目的と効果を説明しつつ、アレンジを重ねながら自宅での活動に繋がるようご利用者へ働きかけを継続している。また映像機器を使用したバラエティーに富んだ口腔体操を提供し、楽しみながら参加頂けるようにした。

毎月１回開催の手作りおやつレクは担当スタッフが工夫を凝らし、季節を感じられる内容や楽しみを感じられる作業を通し、「自分達で作る」楽しさを提供することができた。クオリティの追究をしながら懐かしさや美味しさを感じられるよう工夫した。また、毎月２回の味噌汁レクでも残存機能の保持や「まだまだ出来る」と参加者が自信を持てる機会となり有用感を創出することが出来た。

③ 介護サービス

「在宅生活の継続」をベースに置き、ご利用者の心身の状態・生活の状況に応じたニーズを適切に把握するように努め、一人一人に合った介護サービスを提供すると同時にQOL向上を意識したケアに努めた。また、必要に応じてご家族やケアマネジャーに情報共有を行い、ケア方法や福祉用具の提案を行った。

④　日常動作訓練

送迎から始まり、デイサービスセンター内でのご利用者の動作全てを生活上のリハビリと捉え、移動・食事・入浴・排泄等の行為の際も、過介護にならないようご利用者の残存能力を引き出せるアプローチを心掛け、自立の重要性、生活意欲の向上に繋がるようなサポートを行った。また、集団体操のほか個々のニーズに合わせ、マッサージ器、フットマッサージャー、滑車機器、エアロバイク、ウォーキングマシーンを使用した個別場面を設け、運動機能向上へのサポートを行った。

⑤　健康状態の確認

来所時のバイタルチェックや問診、内服薬の情報を得たり、月１回の体重測定の実施を通じて、看護職員を中心にご利用者の健康管理を行った。また必要に応じて各サービスと共通の「連絡ノート」を作り、デイ利用場面のみならずその方の総合的な健康状態の把握に努めた。また、状態変化があった際には、ご家族や担当のケアマネジャー、訪問看護ステーション等関係機関と情報共有を行い、受診に繋げるなど、迅速な連携を図ることができた。また、コロナ禍では感染症蔓延対策として、ご利用者と職員全員、コロナ抗原検査を毎日実施し早期のコロナ罹患者発見に努めた。

⑥　送迎サービス

送迎ルート、自宅周辺の土地環境を把握しながら、常に安全運転を心がけ、ご利用者の身体状態や特性に合わせた車両選定を行ったり、身体状態により職員２名で対応する等、快適・安心に通所していただける送迎サービスを実施した。車両の点検・整備は月１回実施。また車内・車外の清潔に努め、ひざ掛けやうちわなど設置し、寒暖差への配慮を行ったほか、コロナ禍の感染症対策の一環として車内の消毒清拭や車内の換気（小型空気清浄機設置）を通年対応とした。送迎はご利用者・ご家族との直接コミュニケーションを図れる場面でもあり、情報の共有や生活のアドバイス等を行うことで共通理解を持つことができた。

⑦　レクリエーション・余暇活動

日々のレクリエーションは、ご利用者のＡＤＬや交流や活動による社会性の向上、生活の活性化を目指し、創意工夫した企画と展開を行った。

行事は、季節の移り変わりを感じられるよう工夫しながら感染対策を講じつつ計画的に実施、個々のニーズの合わせた取り組みを行うことができた。

余暇活動として、玄関フロア内に飾る装飾物などをご利用者と共同で創作した。心身や認知機能の活性化が図れ、参加者の有用感にも繋げることが出来た。

⑧　生活相談・援助

ご利用者の生活状況を把握しつつ信頼関係の構築につとめ、相談しやすい雰囲気の創出を心がけた。ご利用者からの相談は真摯に対応し心の安寧を得て頂ける様に努めた。また、内容によっては、その方を取り巻く人的環境を１つの家族システムと捉え、必要時には関係機関と家族についての情報共有も行いつつ解決に向けて連携を行った。毎月、介護支援専門員に発信する「利用状況報告書」により、間接的にご利用者のリアルニーズを伝えた。

⑨　その他日常生活全般にわたる介護

独居やご家族留守宅への送迎などご利用者の生活状況に合わせ、ご家族やケアマネジャーからの依頼で、送迎時の戸締り、電気、火の元の確認などを行った。また、ご家族の支援なく衣類の清潔保持を保てない方については衣類を洗濯してお返しする等可能な限り日常生活のサポートを実施した。

2、会議開催状況

会議名	開催時期	内容
スタッフ会議	毎月１回	・行事確認 ・利用者の変動、利用状況
ケースアセスメント会議	随時	・利用者情報及びケア内容の共有 ・アセスメントシート作成
サービス担当者会議	随　時	・数回実施（状態変化等）
業務運営委員会	毎月１回	・業務改善事項の検討 ・サービス向上の検討
食事検討委員会	年４回	・嗜好状況の報告、検討 ・行事食等の検討

3、職員研修状況

（１）事業所外研修

期間	主催	参加	研修名	場所
R4. 4. 22	帝京福祉専門学校	1	実習指導者会議	山梨市民会館401号室
R4. 9. 1～30	山梨県老人福祉施設協議会	2	関東ブロック老人福祉施設研究総会	オンライン
R4. 11. 28	甲府市健康政策課	1	多職種連携の為の基礎講座	総合市民会館３Ｆ大会議室
R5. 2. 22	山梨県老人福祉施設協議会	2	第１３回山梨老施協研究総会	オンライン
R5. 3. 28	株式会社マルアイ	1	今すぐ使える介護レクリエーションについて	山梨県JA会館セミナー会場

（２）事業所内研修

実施日	研修内容	担当・講師等
R4. 5. 17	【個人情報取り扱い・プライバシー保護・衛生管理・職業倫理・接遇・マナー】　【権利擁護研修】	所長心得
R4. 6. 21	感染対策の基礎知識（食中毒・新型コロナウイルス感染症）	看護職員・サブリーダー
R4. 8. 16	認知症ケア研修	サブリーダー
R4. 9. 20	第57回関東ブロック老人福祉施設研究総会・第12回山梨県老人福祉施設研究総会「合同大会」web視聴	所長
R4. 10. 24	感染症・食中毒蔓延防止に対する考え方と対策	サブリーダー・看護職員
R4. 11. 15	事故防止・事故発生時における取り組み	介護職員
R4. 12. 26	身体拘束・高齢者虐待防止研修	介護職員
R5. 1. 17	非常災害時の対応・防災教育・BCPについて	法人統括防火管理者
R5. 3. 22	ターミナルケアの考え方研修	サブリーダー

4、ボランティア受け入れ状況

＊コロナウイルス感染症対策として受け入れは見合わせた。

5、利用者の状況

（1）行事状況

実施月	行事	実施日	手作りおやつ	実施日
R4 年 4 月	花見会 （花見入浴）	3 月 27～31 日 （3 月 30～31 日）	甘辛たれの 焼きみたらし団子	4 月 20 日 4 月 21 日
5 月	母の日	5 月 5 日～8 日	芋もち	5 月 20 日 5 月 21 日
6 月	父の日	6 月 20 日	クリームあんみつ	6 月 20 日 6 月 21 日
7 月	七夕	7 月 6 日	変わり種たこ焼き	7 月 20 日 7 月 21 日
8 月	スイカ割り 夏祭り	8 月 8 日	牛乳寒天と パイナップルソース	8 月 19 日 8 月 20 日
9 月	敬老会	9 月 19 日	ゴロゴロ栗あんの おやき	9 月 26 日 9 月 27 日
10 月	運動会	10 月 10 日	りんごと南瓜のパイ	10 月 19 日 10 月 20 日
11 月	20 周年記念パーティ・ 紅葉行事	11 月 21～23 日	大学芋風ホットケーキ	11 月 18 日 11 月 19 日
12 月	クリスマス会	12 月 24 日	クリスマス ろうそくケーキ	12 月 19 日 12 月 20 日
R5 年 1 月	新年祝賀会	1 月 4 日～5 日	伊達巻き風 ロールケーキ	1 月 18 日 1 月 19 日
2 月	節分	2 月 3 日	たこやき器で作る きんつば	2 月 17 日 2 月 18 日
3 月	桃の節句	3 月 3 日	薄皮桜餅	3 月 20 日 3 月 21 日

※レクリエーション（みそ汁作り、共同制作等）～月替わりで実施。

※誕生日会～当月利用日が近い日に実施。※手作りカレンダー～毎月実施。

※体重測定～月の前半に実施。※防災訓練～年２回実施。※展望浴～随時実施。

（2）要介護度別利用状況

年月日	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合　計	平均要介護度
R4.4月	8	30	58	85	144	65	74	0	464	3.03
5月	7	30	52	124	139	59	80	3	491	2.98
6月	10	30	75	109	119	56	80	3	479	2.9
7月	8	24	98	93	109	62	92	3	486	2.91
8月	10	21	98	80	107	60	82	0	458	2.88
9月	4	21	74	89	115	62	77	0	442	2.95
10月	4	38	71	91	106	66	82	3	458	2.99
11月	2	24	59	71	81	55	54	2	346	2.92
12月	4	32	61	88	92	36	44	0	357	2.73
R5.1月	4	31	60	80	80	36	41	0	332	2.72
2月	4	25	64	81	78	53	43	0	348	2.78
3月	5	29	72	88	81	73	46	1	394	2.81
合計	70	335	842	1079	1251	683	795	15	5055	2.88

サテライト尚古園デイサービスセンター



1、利用者生活支援状況（報告）

（1）総括

令和４年度はコロナ禍による活動制限が大きく影響を及ぼした１年であった。

地域に密着した施設を目指してサービス提供内容の充実に努めるとともに、関連事業所との関係性の構築に力を入れてきていたが、コロナ禍の影響による訪問活動は制限されるものとなった。

それでも今年度はようやく地域行事が開催されたことで、行事に参加する形で地域との関わりや交流が再開されつつあった。

しかし年末の急激な感染者の増加によってデイサービス内でもご利用者３名、職員２名のクラスター発生となり、利用制限を取らざるを得なくなった。

これにより通所介護事業者としての役割が果たせない状況もあり、ご利用者、ご家族、関係機関に大きな負担をかけてしまったことは一番の反省点であると言える。

ご利用者へは少人数ならではのきめ細かいケアと、一人一人にあった関わりを行い、原則、同性介護を実施できたことで、ご利用者の人権・人間性を尊重する基本理念に基づいた通所介護サービスの提供を行ってきたが、今後もこの感染症のリスクを抱えつつ、今までのケアサービスを充実できるかが課題となっている。

（2）利用者生活支援

① 入浴サービス（一般浴・機械浴）

身体状況やご本人に合った入浴方法を考え１対１で関わることを重視しながら、ゆったりした入浴時間を提供出来た。特に同性介護を実施することで、ご利用者のプライバシーへの配慮が徹底出来た。又、着脱や洗身等ご利用者が出来る事は、ご自身で行うよう働きかけを行ってきた。身体状況に応じて、特養に併設されている機械浴を利用することで、ご利用者が安全にゆっくりと入浴することが出来た。

② 給食サービス

季節感を味わえるように工夫されたメニューを管理栄養士が作成し提供している。行事食が多く、食事がレクリエーションや活動に繋がるケアのひとつとして活用することが出来るよう、自立支援を念頭にサポートしてきた。食事制限のあるご利用者に対する献立にも対応することが出来ており、栄養管理面でのサポートも充実して取り組むことが出来た。

③ 介護サービス

在宅生活が維持出来る事を目標に、ご利用者の身体的、精神的状況に応じた介護サービスを提供した。ご利用者が在宅で生活する為に欠かせない事は、デイでも継続出来るようなアプローチを展開した。過度の介護とならないように状態を的確に把握することに努め、ご家族やケアマネ、協力事業者へも情報提供した。

今年度は長年ご利用していた超高齢者の方のターミナル期も経験し、在宅生活の最後を迎えるぎりぎりまでケアできたことは、積み重ねたケアの成果でもあろうと評価している。

④ 健康状態の確認

コロナ禍における感染症対策を念頭に、ご家族にも健康状態の確認を毎回実施した。状態に変化がみられる場合はご家族へ連絡・報告、受診等の対応をお願いしている。又、ご利用者やご家族の状況に応じて受診調整や訪問看護との情報共有等を積極的に行い、健康状態を維持することで安定した在宅生活が送れるように努めた。

⑤送迎サービス

安全を第一に、個々の状態に合わせて送迎時間等を調整し、独居の方や送迎時にご家族が不在な場合など、個々に対応が違うので生活状況に合わせ、柔軟性のあるサービスで対応してきた。ご利用者の身体能力を把握し、状態に合った送迎方法を確実にする事で、事故の無い安全な送迎を行う事が出来た。また、送迎時のご家族との情報交換を積極的にすすめて、ご利用者の生活支援に繋げている。

⑥　レクリエーション・アクティビティ活動

今年は地域行事として 3 年ぶりに七夕まつりや信玄公まつりが開催された。コロナ禍ではあったが地域の活性化に繋がり行事を通して地域とのかかわりをもつことができた。デイ内でのイベントや食レクの企画も昨年に引き続き多く取り入れることで楽しんで頂けるものとなった。ご利用者の個別の嗜好やニーズに添うような支援も実施した。

⑦　生活相談・援助

家庭によっては様々な理由から、介護ストレスを感じている場合も多く、「無理をせず、助けてもらってもよいのだ」という気持ちを持っていただけるよう、相談しやすいと感じられるよう生活相談・援助を行っている。またスタッフ全員で情報共有し、ご利用者が自宅での生活が継続出来、ご家族の不安を軽減出来るよう努めた。ご家族との連携も密にして、ケアする人をケアする役割も果たしつつある。

⑧　機能訓練

ご利用者一人一人の身体状態に応じた運動やリハビリ効果のあるレクリエーションを多く取り入れ、身体機能の低下を防止する援助を行なうことが出来た。

⑨　その他日常生活全般にわたる介護

ご利用者の生活状況から、送迎時に戸締り、電気、火の元の確認、服薬確認、移乗の介助などを行い、可能な日常生活のサポートを実施することにより、ご利用者及びご家族との信頼関係の向上に繋がり、充実した内容の介護を実践する事が出来た。

2、会議開催状況

会　議　名	開　催　時　期	内　容
スタッフ会議	毎月１回	・ご利用者の変動、利用状況 ・業務改善等　　・ＡＤＬ状況の変動、対策等
サービス担当者会議	適宜	・ご利用者のアセスメントとケアプラン作成、及び作成したプランの評価・検討・確認のため、ご本人・ご家族・関係職員で協議した。
食事検討委員会	毎月１回	・ご利用者の希望に沿った、より質の高い食の提供を目的とし、献立内容やイベント食等の検討を行い、提供した。

3、職員研修状況

（1）事業所内研修（法人研修含む）

期間	内容	発表・講師等
R4.5	職業倫理・個人情報・プライバシー保護・ 身体拘束・虐待防止	施設長
R4.6	防災対策	防災担当
R4.7	衛生管理・食中毒予防	管理栄養士/看護師
R4.9	防災教育	防火担当
R4.10	認知症ケアについて	介護職員
R4.11	感染症・ノロウイルス対策	感染対策委員会
R4.12	ターミナルケアの考え方・褥瘡予防	介護職員
R5.1	身体拘束・虐待防止	身体拘束解消委員会
R5.2	デイサービスにおける事故発生時における取り組み	介護職員

4、ボランティア受け入れ状況

＊コロナウイルス感染症対策として今年度の受け入れは見合わせた。

5、利用者の状況

（1）行事状況一覧

実施日	内　　容	場　　所
4月～5月	お花見等、外出レク	近隣の公園（散歩等）
6月～7月	七夕	デイホール
8月	作品制作	デイホール
9月	十五夜・敬老会	デイホール
10月	ハロウィン（バーベキュー）	屋外・駐車場
11月	お楽しみ食(握り寿司パフォーマンス)	デイホール
12月	クリスマス会	デイホール
R5年1月	新年祝賀会	デイホール
2月～3月	節分・ひな祭り	デイホール

＊上記は主だった行事のみ記載。街中散歩、屋外レクは随時実施

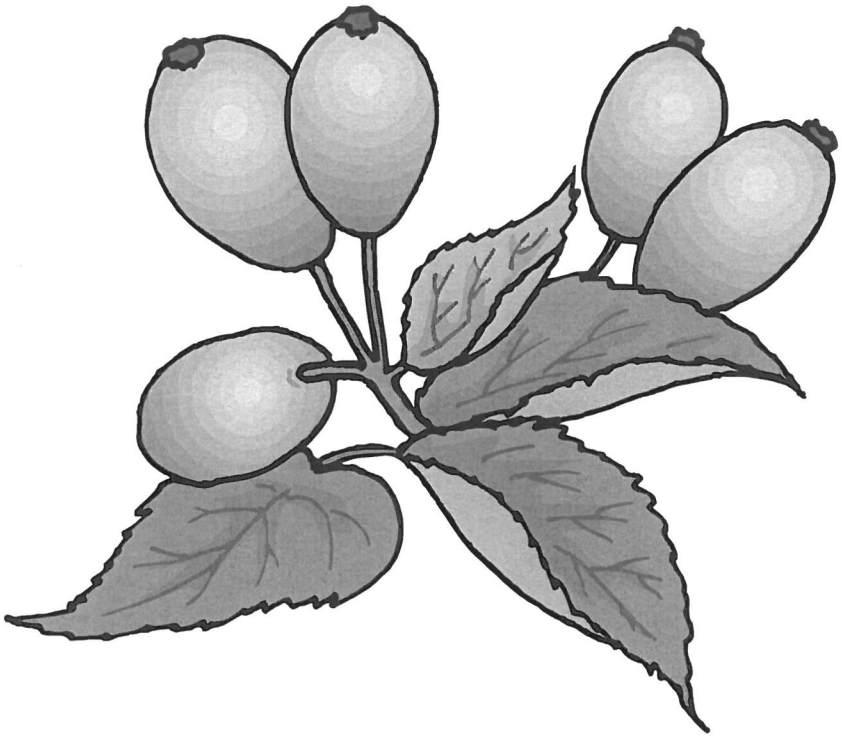
＊誕生日会～毎月1日（誕生日食メニュー）　おやつ作り～毎月1回

＊防災訓練～年2回

（2） 要介護度別利用状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合　計	平均要介護度
R4.4月	0	0	4	31	100	40	8	183	3.09
5月	0	0	0	34	86	46	8	174	3.16
6月	0	0	0	33	77	38	25	173	3.32
7月	0	0	0	45	76	37	20	178	3.18
8月	0	0	14	57	68	24	10	173	2.76
9月	0	0	13	53	90	10	31	197	2.96
10月	0	0	15	52	75	8	42	192	3.05
11月	0	0	0	50	53	29	39	171	3.33
12月	0	0	0	38	56	31	27	152	3.31
R5.1月	0	0	0	48	51	28	29	156	3.24
2月	0	0	4	56	61	28	26	175	3.09
3月	5	0	2	55	56	30	31	178	3.19
合計	5	0	52	552	848	349	296	2097	3.14

グループホーム山径



１、利用者生活支援状況（報告）

＊重介護者がいる中、その人にあった食事を提供し、日々のレクリエーションや楽しみを提案し、活性化に繋げる。

コロナ禍での生活も３年目となり、基本的感染防止策の徹底は前提として面会制限の緩和、人混みを避けてのドライブ外出など以前のような生活に戻りつつある中で重介護者が多くなり、個別の対応が求められた。食事面ではミキサー食、刻み食など随時スタッフ間で情報共有し、個人に合った食事形態で提供する事が出来た。日々のレクリエーションについては重度化に伴い、簡単なレクリエーションになりマンネリ化してしまうこともあったが、脳トレ、クイズ、歌レクなど工夫して行った。季節の行事は計画をしっかり立てて行うことで楽しんで頂けた。今後もレクリエーションや楽しみを提案し活性化に繋げていきたい。

＊その人らしさを大切にし、健康を保ち、安心で安全な環境を提供すると共に、感染症対策の徹底を図る。

基本的な感染対策が徹底されていた為、スタッフ１名が新型コロナウイルス感染症の罹患はあったが感染拡大することなく過ごす事が出来た。

日々の様子観察から体調変化に気付く事が出来、往診医やご家族様と連携は出来ていたが、スタッフ間での情報共有が徹底されておらず、転倒事故に繋がったケースがあった。今後は情報共有を徹底し、職員一人ひとりが危険予測を行い、細やかな配慮をしていき安心で安全な環境を提供していきたい。

＊地域の一人である事を意識し、災害時等に連携出来るような体制を築く。

前年度に引き続き、スーパーへの買い物の付き添いは自粛し、地域の行事が軒並み中止され、交流があった保育園の運動への参加や定期的に来所して下さるボランティアの方との交流も出来なかった。運営推進会議において、施設内の状況報告や地域代表者との繋がりは持ててはいるものの、地域密着型施設としての繋がりは持てず、今後、コロナウイルスの感染状況を見ながら、地域へ出掛けられるような関りが持てるように模索していきたい。

〈 総括 〉

近隣でクラスターの発生が報告されている状況の中、スタッフのコロナウイルス感染症の罹患はあったが、ご入居者やデイご利用者の感染や蔓延等はなく、過ごせたことは本当に良かった。また、風邪や体調不良の発症もなく、往診医と連携し体調管理に努め安定した生活が提供できた。身体機能の低下から、その方にとって一番よい生活の場を往診医・スタッフ・ご家族と協議し、１名特養へ移動した方がいた。

日々のちょっとした変化に気づき観察する視点やご入居者に合わせた対応、状態把握に努め、早期発見・早期対応を行い、不自由の無い暮らしに結びつけていきたい。

コロナ禍、室内で行える行事や食べ物レク等に力を入れ、少しでも楽しんで頂けるよう工夫して行って来た。重度化している現状ではあるが、生活の場としてご入居者が生き生きと暮らし、新型コロナウィルス感染症が５類への移行等を含め、今後地域の一員として社会交流ができるよう努めていきたいと思う。ご家族・ご入居者のニーズに応えられる様、知識・技術・資質の向上に努めていく。

2、会議開催状況

会議名	開催時期	備　　考
リーダー会議	毎月１回	利用状況、業務改善等
スタッフ・ケース会議	毎月１回	利用状況、業務改善等
身体拘束適正化会議	３ヶ月に１回	利用者状況、支援内容等
ご利用者・スタッフの話し合い	随　時	数回実施（状態変化等）

3、年間行事

年 月 日	内　　容	場　　所	利用者数	ご家族数
R4. 4/12	ドライブ	武田神社～朝日町	３名	0
4/13	ドライブ	武田神社～朝日町	２名	0
4/16	お茶の会	山径ホール	９名	0
4/25	クッキー作り	山径ホール	９名	0
5/5	柏餅作り	山径ホール	９名	0
5/8	母の日	山径ホール	９名	0
5/10	ドライブ	愛宕バラ園	１名	0
5/12	ドライブ	愛宕バラ園	１名	0
6/9	お茶会	玄関前広場	９名	0
6/27	お楽しみランチ	山径ホール	９名	0
7/5	七夕見学	銀座通り	１名	0
7/7	七夕会	山径ホール	９名	0
8/18	夏祭り	山径ホール	９名	0
9/19	敬老祝賀会	山径ホール	９名	0
10/20	運動会	山径ホール	９名	0
10/26	ドライブ	千塚公園	１名	0
10/30	ドライブ	緑が丘公園	３名	0
11/1	20周年記念祝賀会	山径ホール	９名	0
12/23	クリスマス会	山径ホール	９名	0
R5. 1/8	獅子舞	玄関前広場	７名	0
1/11	鏡開き、餅つき	山径ホール	９名	0
1/13	五平餅作り	山径ホール	８名	0
2/3	節分会	山径ホール	９名	0
2/14	バレンタインデー	山径ホール	９名	0
3/11	ドライブ	愛宕山	２名	0
3/22	お花見ランチ	山径ホール	９名	0
3/25	お花見浴	展望風呂	３名	0
3/29	お花見浴	展望風呂	３名	0

4、職員研修状況

（1）施設外研修　：デイサービス山径共通

年月日	主　催	研　　修　　名	参加者	場所
R4. 8. 12 ～9. 20	山梨県介護支援専門員協会	山梨県介護支援専門員専門研修課程 ・更新研修Ⅱ	1	Ｗｅｄ開催
R4. 11. 16	甲府市介護サービス事業所 連絡協議会	コロナ禍における認知症の現状 ～最新の認知症ケア～	1	健康の社　アネシス

（2）施設内研修（法人研修含む）　：デイサービス山径共通

年月日	内　　容	発表・講師等
R4. 6. 3	個人情報取り扱い・プライバシー保護・衛生管理・職業倫理について 【権利擁護・・・身体拘束／虐待防止も含む】	GH 計画作成担当
R4. 6. 27	感染症について（オンライン学習）	法人感染対策委員会
R4. 7. 21	防災教育（講義）	ＧＨ介護職員
R4. 8. 18	衛生管理／食中毒予防について	特養：管理栄養士
R4. 9. 15	高齢者介護におけるレクリエーションについて	ＧＨ介護職員
R4. 10. 20	感染症・ノロウイルス等のデモンストレーション	ＧＨ介護職員
R4. 11. 17	認知症高齢者のケアについて	ＧＨ介護職員
R4. 12. 19	ターミナルケア・褥瘡予防について	ＧＨ介護職員
R5. 1. 19	身体拘束解消・虐待防止について	ＧＨ介護職員
R5. 2. 16	事故防止・事故発生時における取り組み	ＧＨ介護職員

5、利用者の状況

(1) 年齢

年齢	70～79 歳	80～89 歳	90～99 歳	100～109 歳
人数	0	3	6	0

最高年齢･･･99 歳
最低年齢･･･84 歳
平均年齢･･･91. 8 歳

(2) 要介護度　　平均介護度･･･3. 1

要介護度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
人数	2	0	4	1	2

(3) 要介護度の変化状況

介護度の変化状況	人数	介護度の変化状況	人数
4　→　5	1	2　→　3	1
3　→　1	1		

(4) 入退所の状況

	男	女	計
入所者数	0	1	1
退居者数	0	1	1
入所前状況	自宅･･1 名		
退所理由	特養へ入所･･1 名		

(5) 外泊状況

令和４年度は外泊者０名

(6) 入院状況

令和４年度は入院者１名

(7) 面会状況

年　月	面　会　件　数	年　月	面　会　件　数	年　月	面　会　件　数
R4.4月	6	8月	5	12月	9
5月	12	9月	9	R5.1月	9
6月	8	10月	9	2月	5
7月	6	11月	6	3月	13

６、運営推進会議の開催

第一回　運営推進会議 令和４年５月25日（水）14：00～

参加　入居者家族１名・和田町自治会代表１名
北東包括支援センター1名・有識者１名・所長・介護職員

議題　①入居者の生活状況とADL・サービスの状況　②通所の状況
③活動状況の報告　④令和４年度活動報告　⑤その他

第二回　運営推進会議　令和４年７月29日（金）　書面での開催

参加　（ご意見を頂けた方）入居者家族１名・北東包括支援センター1名
有識者１名・和田町自治会代表１名・所長・介護職員

議題　①入居者の生活状況とADL・サービスの状況　②通所の状況
③活動状況の報告　④食事について　⑤その他

第三回　運営推進会議　令和４年９月26日（月）　書面での開催

参加（ご意見を頂けた方）入居者家族１名・和田町自治会代表１名・有識者１名
北東包括支援センター1名・所長・介護職員

議題　①入居者の生活状況とADL・サービスの状況　②通所の状況
③活動状況の報告　④高齢者のレクリエーションについて　⑤その他

第四回　運営推進会議　令和４年11月22日（火）　14:00～

参加　入居者家族１名・有識者１名・北東包括支援センター1名
和田町自治会代表１名・所長・介護職員

議題　①入居者の生活状況とADL・サービスの状況　②通所の状況
③活動状況の報告　④意見交換　⑤その他

第五回　運営推進会議　令和５年１月30日（木）　書面での開催

参加（ご意見を頂けた方）入居者家族１名・有識者１名・和田町自治会代表１名
北東包括支援センター1名・有識者１名・所長・介護職員

議題　①入居者の生活状況とADL・サービスの状況　②通所の状況
③活動状況の報告　④ターミナルケア・褥瘡予防の研修報告　⑤その他

第六回　運営推進会議　令和５年３月27日（月）　14:00～

参加　入居者家族１名・有識者１名・北東包括支援センター1名
和田町自治会代表１名・所長・介護職員

議題　①入居者の生活状況とADL・サービスの状況　②通所の状況　③活動状況の報告
④令和４年度のまとめ　⑤第三者委員会の報告　⑥その他

デイサービスセンター山径



1、利用者生活支援状況（報告）

(1) 総括

令和４年度はコロナ禍での生活も３年目を迎え、感染予防対策の徹底を図りながら継続した支援を行ってきた。コロナの脅威を感じながらも、ご家族の協力も含め、コロナウイルス感染症に罹患する事なく過ごす事が出来た。

登録者４名でうち２名が独居、２名がご家族と同居して生活されている中で、送迎時に家の中の支援を行いながらご家族の介護負担の軽減に努めた。

独居の方２名は、介護保険サービスを始めて利用する事もあり、ご本人やご家族の不安もあったかと思うが、結果として安定して利用頂き、入浴も拒否することなく入られ生活の質が上がった。週６日ご利用の１名様については、タイミングよくご家族の希望に添える形で入所に繋がった。引き続き、在宅生活が元気で長く暮らし続ける為にも、ご家族の負担軽減に努め、ご利用者の個々の状況を的確に把握し、柔軟に対応する事で在宅生活をサポートしていきたい。

（2） 利用者生活支援

① 入浴サービス（一船浴）

健康状態をチェックし、ご利用者の状態を把握。安全にゆっくりと個々のペースでの入浴が実施できた。皮膚の状態等、こまかな状態変化にも気付くことができ、ご家族やケアマネと情報を共有し、早期に対応実施する事が出来た。桜の咲く時期には、新浴室にて花見浴を実施しとても喜んで頂けた。

② 給食サービス

五感を刺激しながらの食事作りの中で、食事への楽しみが生まれ、食欲増加へと繋がった。特別食として、誕生日にはその方の好きな物を提供し喜んで頂けた。お楽しみランチを実施したり、外注にてお寿司を購入したりし、普段とは違った食事も楽しんで頂き、また、季節を感じて頂けるような旬の物を使用した献立も好評であった。

③ 介護サービス

グループホームの特性を生かして、「通所介護計画書」を作成。家庭での延長と位置付け、介護計画書に添って日常生活動作の中でサービスを提供した。ご家族のニーズに合わせ、利用時のIADLや精神的状況をお伝えすることで、受診の際の日常生活の様子報告にも対応ができた。

④ 健康状態の確認

バイタルチェック、体重測定（月１回）、随時身体チェックを実施。普段と状態に変化がある場合はご家族へ連絡、報告し受診等の対応をお願いしている。また、ご利用者、ご家族、ケアマネからの相談により、個人持ちの薬の管理や手当てのサポートなど、できる範囲でのアドバイスを行った。

⑤ 送迎サービス

ご利用者が安心して乗車できるよう、定期的に車の清掃や点検を行い、安全運転に努めたが５月に接触事故発生。怪我人はいなかったが車は廃車となった。事故後はより安全運転に努めた。

コロナ禍のため、検温の実施や車内の空調に配慮、消毒の実施を行った。送迎の時間を利用して、ご家族との情報交換に努め、信頼関係等を深めることができた。

⑥ レクリエーション・余暇活動

ドライブ、外気浴、花見浴など、季節の移り変わりを感じることができるよう企画に工夫した。また、昼食の準備や食器の片づけ、洗濯物を干す、たたむ等の作業を実施し、役割を持つ意識を高め、自宅で行えている事が継続できように努めた。「脳トレ」を定期的に取り入れ、一人一人の持てる力を見極め、具体的な計画を組み込み実施できた。

⑦ 生活相談・援助

日頃の会話の中やケアマネからの情報提供、送迎時のご家族との会話などから、ご利用者やご家族の不安や心配ごとを読み取れるように留意し、気を配るようにした。

担当ケアマネとの情報の共有を行うことで、一体的な生活のサポートを行えるように、毎月ご利用者の状況や生活に支障があることなどを報告していることで、より充実したサポートを実施している。

⑧ その他日常生活全般にわたる介護

ご利用者の生活状況から、必要に応じてライフラインの確認や戸締り、鍵や衣類の管理、服薬支援、夕食の準備や洗濯等を行い生活へのサポートも行った。

2、会議開催状況

会議名	開催時期	備　　考
リーダー会議	毎月１回	利用状況、業務改善等
スタッフ・ケース会議	毎月１回	利用状況、業務改善等
ご利用者・スタッフの話し合い	随　時	数回実施（状態変化等）

3、ボランティア受け入れ状況　（グループホーム山径共通）

個人・グループ数	年間延べ人数	内容
０人	０人	

4、利用者の状況

(1) 行事状況一覧

年 月 日	内　　容	場　　所	利用者数
R4. 4. 16	お茶の会	山径ホール	２名
4. 25	クッキー作り	山径ホール	３名
5. 5	かしわ餅作り	山径ホール	３名
5. 12	ドライブ	愛宕バラ園	１名
6. 9	お茶会	玄関前庭	３名
6. 27	お楽しみランチ	山径ホール	３名
7. 7	七夕会	山径ホール	３名
8. 18	夏祭り	山径ホール	３名
9. 19	敬老祝賀会	山径ホール	３名
10. 20	運動会	山径ホール	３名
10. 26	ドライブ	千塚公園	１名
11. 1	20周年記念祝賀会	山径ホール	２名
12. 23	クリスマス会	山径ホール	２名

R5. 1. 11	鏡開き、餅つき	山径ホール	2名
1. 13	五平餅作り	山径ホール	2名
2. 3	節分会	山径ホール	3名
2. 14	バレンタインデー	山径ホール	3名
3. 22	お花見ランチ	山径ホール	1名
3. 25	花見浴	展望風呂	1名
3. 29	花見浴	展望風呂	1名

＊誕生日会～月ごと（行事食メニュー）

＊防災訓練～年2回

(2) 要介護度別利用状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均要介護度
R4. 4月	0	0	34	11	19	0	0	64	1. 8
5月	0	0	35	21	19	0	0	75	1. 8
6月	0	0	35	24	13	0	0	72	1. 8
7月	0	0	33	34	0	0	0	67	1. 5
8月	0	0	35	32	0	0	0	67	1. 5
9月	0	0	35	34	0	0	0	69	1. 5
10月	0	0	37	34	0	0	0	71	1. 5
11月	0	0	38	34	0	0	0	72	1. 5
12月	0	0	38	33	0	0	0	71	1. 5
R5. 1月	0	0	36	27	0	0	0	63	1. 5
2月	0	0	36	22	0	0	0	58	1. 5
3月	0	0	16	5	0	0	0	21	1. 3
合　計	0	0	408	311	51	0	0	770	1. 6

尚古園指定居宅介護支援事業所



尚古園指定居宅介護支援事業所

実　施　内　容

1. 介護等の相談の受付・連絡・調整
2. 介護保険更新申請等の書類の代行申請
3. ご利用者の心身の状態の把握やご家族の介護状況・生活の様子の確認
4. ご利用者・ご家族・介護サービス事業者・その他関係機関との連絡・調整
5. 居宅サービス計画の作成
6. 給付管理の実施
7. 介護、医療、福祉サービスの利用状況の確認
8. 福祉・医療機関などとの連携
9. 委託された介護保険認定調査の実施
10. 地域貢献に関わる事項

1、重点目標

①ご利用者やご家族の介護上のニーズ（必要性や要望）に幅広く応えられるよう、介護保険制度や支援に必要な各種制度の知識・理解を深め、実践力を高めていく。

ご利用者・ご家族関係者それぞれのニーズや介護の必要性などの情報把握に努め、支援方向性の提案などを行いながら、課題解決するための実践力向上のための研修等に参加してきた。

②運営基準上必要な書類などを整備し、適正な事業所運営を目指していく。

居宅サービス計画を基にしたマネジメントを実施するにあたり、必要な書類の整備に努め、適正な事業所運営を目指してきた。

③委託された認定調査を適確に実施していく。

年度途中から受けられる調査数を減らしたが、甲府市から追加して要望のあった調査にも対応してきた。

④社会福祉法人における事業所として行政や地域の関連機関などと連携し協力しあっていく。

複雑な状況や課題のある方のマネジメントについて可能な範囲で、地域包括支援センターや地域からの介護相談等へ対応してきた。また行政機関等の主催する研修等にも積極的に協力を行ってきた。

総括

令和４年度も感染リスクを極力回避しながら、それぞれの状況に応じた必要な介護などを適正に利用できるよう対応を図ってきた。それについては、必要な各機関との調整を行い効果的に課題が増大しないよう介護サービス等の調整を図ってきた。今後も関係機関との連携を図りつつ地域の方々のご支援を得ながら課題解決に取り組んでいこうと考えている。

2、給付管理など実施状況

(項目)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
給付管理	63	66	70	68	65	65	66	68	66	66	65	63	791	65.9
委託予防	13	10	10	11	10	11	12	12	12	12	12	11	136	11.3
計	76	76	80	79	75	76	78	80	78	78	77	74	927	77.3
認定調査	4	4	6	4	4	2	2	3	4	2	3	4	42	3.5

3、研修やその他の事業等への参加状況

年　日	主な研修会や説明会等への出席状況
2022/5/25	山梨県介護支援専門員協会：総会：桃源郷会館にて、事前議事運営委員会含む
2022/6/3	甲府市居宅介護支援事業者、集団指導、甲府市総合市民会館３階
2022/6/7	在宅医療介護支援体制強化事業、窓口相談対応。山梨県医師会館
2022/6/10	ケアマネの会北東、事例検討会。北東公民館にて、
2022/8/26	第三者委員会、書面開催
2022/11/10	ケアマネの会北東：事例検討会：北東公民館にて開催
2022/11/13	朝、緑が丘ルートの環境清掃活動、参加
2022/11/17	ケアマネ交流会：北東包括支援センター主催、「暫定利用における見込み違いのリスク」 リモート開催
2022/11/22	山梨県介護支援専門員協会　第１１回地域支部連携研究大会、（リモート開催）
2022/11/30	介護認定調査員現任研修（オンライン開催） 三菱UFJ リサーチ＆コンサルティング株式会社：経済政策部：副主任研究員：齋木由利様
2022/12/23	甲府市主催：自立支援型地域ケア会議：事例提出、研修会
2023/1/12	介護支援専門員協会甲府支部：主マネ研修会：県立大学池田キャンパス 事前運営準備等含む
2023/2/24	第三者委員会、尚古園新会議室にて、
2023/3/7	厚生労働省主催「介護事業者のためのＢＣＰ作成セミナー」オンライン研修
月１回	山梨県介護支援専門員協会甲府支部運営委員会

令和４年度事業報告書

社会福祉法人　善　隣　会
理事長　廣 瀬 朱 實

〒400-0001 山梨県甲府市和田町 2948 番地の 6
TEL 055-253-7231　　FAX 055-253-7228
https://www.zenrinkai.or.jp
E-mail　honbu@zenrinkai.or.jp

令和 5 年 5 月発行